

## 教科に関する科目に対応する開設授業科目一覧（平成29年度）

### 人文・文化学群 人文学類

免許教科	免許法に規定する科目			区 分	本学における開設授業科目 (開設学群・学類)	備 考
	教科に関する科目	最低修得単位数				
		中学校	高等学校			
国 語	国語学（音声言語及び文章表現に関するものを含む。）	1 以上	1 以上	国語学	(人文学類開設) ◎日本語学概論 a・b, 日本語文法論 a・b, 日本語史 a・b, 日本語学特講 Ia・b, IIa・b, 日本語学演習 Ia・b, IIa・b, IIIa・b, 日本語学講読 Ia・b, IIa・b, IIIa・b, IVa・b, 応用言語学講義 IVa,b, 応用言語学演習 IVa,b	下線は a,b2 科目とも選択必修
				音声言語及び文章表現	(人文学類開設) ◎日本語音韻論 a, b	
	国文学（国文学史を含む。）	1 以上	1 以上	国文学	(比較文化学類開設) ◎日本文学概論 ◎日本文学講読1～10 日本文学演習1～10 日本文学特講1, 2	下線は11科目から2科目選択必修
				国文学史	(比較文化学類開設) ◎日本文学史1～4	
	漢文学	1 以上	1 以上	漢文学	(比較文化学類開設) ◎中国文学概論, ◎中国文学史 I, ◎中国文学史 II, ◎中国文学講読 I・II (2科目セット), 中国文学講読 III～IV, 中国文学演習 I～IV	下線は4つからいずれか選択必修
書道（書写を中心とする。）	1 以上	—	書道（書写を中心とする。）	(共通科目開設) ◎芸術（書A・B・C）	1科目選択必修（中学のみ）	
合 計 (中学1種, 高校1種)		2 0	2 0			

(注) 1. 教科に関する科目の欄中, ( ) 内のものは必ず含めて修得しなければならない。

2. 本学における開設授業科目の欄中, ◎の付してあるものは, 免許取得の際の必修科目を表す。

人文・文化学群 人文学類

免許教科	免許法に規定する科目		区 分	本学における開設授業科目 (開設学群・学類)	備 考
	教科に関する科目	最低修得単位数			
社	日本史及び外国史	1 以上	日本史	(人文学類開設) ◎日本史概説 Ia・b, IIa・b, IIIa・b, 歴史地理学概説 a・b, 考古学概説 a・b, 民俗学概説 a・b, 日本史特講 Ia・b, IIa・b, IIIa・b, IVa・b, Va・b, VIa・b, 日本歴史地理学講義 a・b, 歴史地理学研究法 a・b, 考古学特講 Ia・b, IIa・b, IIIa・b, IVa・b, 民俗学特講 a・b, 民俗学方法論, 民俗史料講義 III・IV	下線6科目から a・bと続く2科目 を選択必修
			外国史	(人文学類開設) ◎東洋史概説 a・b, ◎ヨーロッパ史概説 a・b, ◎オリエント史概説 a・b, 先史学概説 a・b, 文化人類学概説 a・b, 東洋史特講 IIa・b, IIIa・b, オリエント史特講 Ia・b, IIa・b, ヨーロッパ・アメリカ史特講 Ia・b, IVa・b, 欧米歴史地理学講義 a・b, 先史学特講 Ia・b, IIa・b, IIIa・b, IVa・b, 文化人類学講義 Ia・b, IIa・b, IV	下線2科目から1 科目選択 必修及び 二重下線 4科目から 1科目 選択必修
会	地理学(地誌を含む。)	1 以上	地理学	(人文学類開設) ◎人文地理学, 都市地理学 (比較文化学類開設) ◎自然環境論 (地球学類開設) 地形学, 人文地理学, 地理情報システム A・B, 地生態学, 海洋学, 交通地理学, 地球環境学 A・B	下線2つ からいずれ か選択 必修
			地誌	(人文学類開設) ◎地誌学, 社会地域論 (地球学類開設) 世界地誌 I～IV, 地誌学	
	「法律学, 政治学」	1 以上	「法律学, 政治学」	(社会学類開設) ◎法学概論, ◎民事法概論, ◎政治学, ◎政治思想, ◎政治外交史, 民法総則, 刑法 I・II, 憲法 I～III, 商法 I, 会社法 I・II, 国際法 I, 国際組織法, 国際紛争論 I・II, アメリカ外交史, 行政学, 比較政治学, アメリカの政治, 国際政治学, 現代国際政治理論	下線は5 科目から 1科目選 択必修
	「社会学, 経済学」	1 以上	「社会学, 経済学」	(社会学類開設) ◎社会学基礎論, ◎現代社会論, ◎現代経済史, ◎経済学基礎論	下線は4 科目から 1科目選 択必修
	「哲学, 倫理学, 宗教学」	1 以上	「哲学, 倫理学, 宗教学」	(人文学類開設) ◎哲学通論 a・b, ◎倫理学通論 a・b, ◎宗教学通論 a・b, 日本思想 a・b, 東洋思想 a・b, 西洋思想 a・b, 哲学特講 Ia・b, IIa・b, 哲学史特講 Ia・b, IIa・b, 東洋哲学史 a・b, 西洋哲学史 Ia～IVa, Ib～IVb, 倫理学 a・b, 倫理学特講 Ia・b, IIa・b, 日本倫理思想史 a・b, 東洋倫理思想史 a・b, 西洋倫理思想史 Ia・b(古代・中世), 西洋倫理思想史 IIa・b(近代), 倫理思想史特講 Ia・b, IIa・b, 宗教学 a・b, 宗教哲学 a・b, 宗教社会学 a・b, 比較思想論 a・b, 東洋宗教思想史 a・b, 西洋宗教思想史 a・b, インド・仏教思想 a・b,	下線は6 科目から2 科目選択 必修
	合計 (中学一種)	2 0			

- (注) 1. 教科に関する科目の欄中, ( ) 内のものは必ず含めて修得しなければならない。  
 2. 教科に関する科目の欄中, ○○及び○○とあるものは両科目修得しなければならない。  
 3. 教科に関する科目の欄中, 「 」内のものは1科目以上にわたり修得すればよい。  
 4. 本学における開設授業科目の欄中, ◎の付してあるものは, 免許取得の際の必修科目を表す。

人文・文化学群 人文学類

免許教科	免許法に規定する科目		区 分	本学における開設授業科目 (開設学群・学類)	備 考
	教科に関する科目	最低修得単位数			
		高等学校			
地 理 史	日本史	1以上	日本史	(人文学類開設) ◎日本史概説 Ia・b, IIa・b, IIIa・b, 歴史地理学概説 a・b, 考古学概説 a・b, 民俗学概説 a・b, 日本史特講 Ia・b, IIa・b, IIIa・b, IVa・b, Va・b, VIa・b, 日本歴史地理学講義 a・b, 歴史地理学研究法 a・b, 考古学特講 Ia・b, IIa・b, IIIa・b, IVa・b, 民俗学特講 a・b, 民俗学方法論, 民俗史料講義 III・IV	下線6科目から a・bと続く2科目 を選択必修
	外国史	1以上	外国史	(人文学類開設) ◎東洋史概説 a・b, ◎ヨーロッパ史概説 a・b, ◎オリエント史概説 a・b, 先史学概説 a・b, 文化人類学概説 a・b, 東洋史特講 IIa・b, IIIa・b, オリエント史特講 Ia・b, IIa・b, ヨーロッパ・アメリカ史特講 Ia・b, IVa・b, 欧米歴史地理学講義 a・b, 先史学特講 Ia・b, IIa・b, IIIa・b, IVa・b, 文化人類学講義 Ia・b, IIa・b, IV	下線2科目から1 科目選択 必修及び 二重下線 4科目から 1科目 選択必修
	人文地理学及び自然 地理学	1以上	人文地理学	(人文学類開設) ◎人文地理学, 都市地理学 (地球学類開設) 人文地理学, 地球環境学 B, 地理情報システム A・B, 交通地理学	
			自然地理学	(比較文化学類開設) ◎自然環境論 (地球学類開設) 地形学, 地生態学, 海洋学, 地球環境学 A	
地誌	1以上	地誌	(人文学類開設) ◎地誌学, 社会地域論 (地球学類開設) 地誌学		
合計 (高校一種)		20			

- (注) 1. 教科に関する科目の欄中, ○○及び○○とあるものは両科目修得しなければならない  
 2. 本学における開設授業科目の欄中, ◎の付してあるものは, 免許取得の際の必修科目を表す。

人文・文化学群 人文学類

免許教科	免許法に規定する科目		区 分	本学における開設授業科目 (開設学群・学類)	備 考
	教科に関する科目	最低修得単位数			
		高等学校			
公	「法律学(国際法を含む。), 政治学(国際政治を含む。)」	1 以上	法律学	(社会学類開設) ◎法学概論, ◎民事法概論, 民法総則, 契約, 刑法 I・II, 憲法 I～III, 商法 I, 会社法 I・II	下線は2 科目から 1科目選 択必修
			国際法	(社会学類開設) 国際法 I, 国際組織法	
			政治学	(社会学類開設) ◎政治学, ◎政治思想, ◎政治外交史	1科目選 択必修
			国際政治	(社会学類開設) 比較政治学, アメリカの政治, 国際政治 学, 現代国際政治理論, 国際紛争論 I・II, アメリカ外交史	
民	「社会学, 経済学(国際経済を含む。)」	1 以上	社会学	(社会学類開設) ◎社会学基礎論, ◎現代社会論	1科目選 択必修
			経済学(国際経済を含む。)	(比較文化学類開設) 情報文化概論 I・II, 広告文化論, 映像文化論, コミュニケーション論, メディア・コミュニケーション論	
民	「哲学, 倫理学, 宗教学, 心理学」	1 以上	「哲学, 倫理学, 宗教学」	(人文学類開設) ◎哲学通論 a・b, ◎倫理学通論 a・b, ◎宗教学通論 a・b, 日本思想 a・b, 東洋思想 a・b, 西洋思想 a・b, 哲学特講 Ia・b, IIa・b, 哲学史特講 Ia・b, IIa・b, 東洋哲学史 a・b, 西洋哲学史 Ia～IVa, Ib～IVb, 倫理学 a・b, 倫理学特講 Ia・b, IIa・b, 日本倫理思想史 a・b, 東洋倫理思想史 a・b, 西洋倫理思想史 Ia・b(古代・中世), 西洋倫理思想史 IIa・b(近代), 倫理思想史特講 Ia・b, IIa・b, 宗教学 a・b, 宗教哲学 a・b, 宗教社会学 a・b, 比較思想論 a・b, 東洋宗教思想史 a・b, 西洋宗教思想史 a・b, インド・仏教思想 a・b,	下線は6 科目から 2科目選 択必修
合計 (高校一種)		20			

- (注) 1. 教科に関する科目の欄中, ( ) 内のものは必ず含めて修得しなければならない。  
 2. 教科に関する科目の欄中, 「 」内のものは1科目以上にわたり修得すればよい。  
 3. 本学における開設授業科目の欄中, ◎の付してあるものは, 免許取得の際の必修科目を表す。  
 4. 「法律学(国際法を含む。), 政治学(国際政治を含む。)」は, 区分「法律学及び国際法」, 区分「政治学及び国際政治」のいずれかを最低限修得すること。

人文・文化学群 人文学類

免許教科	免許法に規定する科目		区分	本学における開設授業科目 (開設学群・学類)	備考	
	教科に関する科目	最低修得単位数				
		中学校				高等学校
英語	英語学	1以上	1以上	英語学	(人文学類開設) ◎ <u>英語学概論 a・b</u> , ◎ <u>英語文法論・統語論(1) a・b</u> , ◎ <u>英語文法論・統語論(2) a・b</u> , 英語学演習(1) a・b, 英語学演習(2) a・b, 英語学演習(3) a・b, 英語学演習(4) a・b, 英語意味論・語用論(1) a・b, 英語意味論・語用論(2) a・b, 英語音韻論・形態論(1) a・b, 英語音韻論・形態論(2) a・b, 応用言語学講義 Ia・b, 応用言語学演習 Ia・b, 応用言語学演習 IIa・b	下線は6科目から1科目選択必修
	英米文学	1以上	1以上	英米文学	(比較文化学類開設) ◎ <u>イギリス文学史 I</u> , ◎ <u>イギリス文学史 II</u> , ◎ <u>アメリカ文学史 I</u> , ◎ <u>アメリカ文学史 II</u> , 英語圏文学・文化講義 I~IV, 英語圏文学・文化研究 I~III, カナダ文化特講 I	下線2科目から1科目選択必修及び二重下線から1科目選択必修
	英語コミュニケーション	1以上	1以上	英語コミュニケーション	(人文学類開設) ◎ <u>英語論文講読(1) a・b</u> , ◎ <u>英語論文講読(2) a・b</u> , ◎ <u>外書講読 Ia・b</u> , ◎ <u>外書講読 IIa・b</u> , 英語論文講読(3) a・b, 英語論文講読(4) a・b, 英語学論文演習 a・b	下線は8科目から1科目選択必修
	異文化理解	1以上	1以上	異文化理解	(人文学類開設) ◎ <u>応用言語学講義 IIIa・b</u> , 応用言語学演習 IIIa・b, ヨーロッパ・アメリカ史特講 IIa・b, IIIa・b	下線は2科目から1科目選択必修
合計 (中学一種, 高校一種)		20	20			

(注) 本学における開設授業科目の欄中, ◎の付してあるものは, 免許取得の際の必修科目を表す。

人文・文化学群 人文学類

免許教科	免許法に規定する科目			区 分	本学における開設授業科目 (開設学群・学類)	備 考
	教科に関する科目	最低修得単位数				
		中学校	高等学校			
ド イ ツ 語	ドイツ語学	1以上	1以上	ドイツ語学	(人文学類開設) ◎独語学概論 a・b, ドイツ語文法論・統語論 a・b, ドイツ語意味論・語用論 a・b, ドイツ語学講義 Ia・b, IIa・b, IIIa・b, ドイツ語学演習 Ia・b, IIa・b, ドイツ語文法演習 a・b	
	ドイツ文学	1以上	1以上	ドイツ文学	(比較文化学類開設) ◎ドイツ語圏文学・文化論 I, ◎ドイツ語圏文学・文化論 III, ドイツ語圏文学・文化論 II, IV, V, VI, ドイツ語圏文学・文化演習 I～VI	下線は2 科目か ら1科目 選択必 修
	ドイツ語コミュニケーション	1以上	1以上	ドイツ語コミュニ ケーション	(人文学類開設) ◎ドイツ語作文演習 a・b, ドイツ語音声学・音韻論 a・b, ドイツ語圏言語文化演習 Ia, ドイツ語圏言語文化演習 Ib, ドイツ語圏言語文化演習 IIa, ドイツ語圏言語文化演習 IIb	
	異文化理解	1以上	1以上	異文化理解	(比較文化学類開設) ◎ドイツ語圏文学・文化概論, ヨーロッパ文学・文化概論,	
合計 (中学一種, 高校一種)		20	20			

(注) 本学における開設授業科目の欄中, ◎の付してあるものは, 免許取得の際の必修科目を表す。

免許教科	免許法に規定する科目			区 分	本学における開設授業科目 (開設学群・学類)	備 考
	教科に関する科目	最低修得単位数				
		中学校	高等学校			
フ ラ ン ス 語	フランス語学	1以上	1以上	フランス語学	(人文学類開設) ◎仏語文法論 a・b, 仏語学概論 a・b, 仏語文法講読 a・b, 仏語意味論 a・b, 仏語史講義 a・b, 仏語学演習 Ia・b, IIa・b, IIIa・ b, IVa・b	
	フランス文学	1以上	1以上	フランス文学	(比較文化学類開設) ◎フランス語圏文学・文化概論 I, ◎フランス語圏文学・文化講読 I, ◎フランス語圏文学・文化講読 III, フランス語圏文学・文化講読 II, IV	下線は3 科目か ら1科目 選択必 修
	フランス語コミュニケーション	1以上	1以上	フランス語コミュニ ケーション	(人文学類開設) ◎仏語音声学・音韻論 a・b, 仏作文会話演習 Ia・b, IIa・b, 仏語演習 a・b	
	異文化理解	1以上	1以上	異文化理解	(比較文化学類開設) ◎フランス語圏文学・文化概論 II テキスト文化学研究 II, テキスト文化学演習 III	
合計 (中学一種, 高校一種)		20	20			

(注) 本学における開設授業科目の欄中, ◎の付してあるものは, 免許取得の際の必修科目を表す。

人文・文化学群 人文学類

免許 教科	免許法に規定する科目			区 分	本学における開設授業科目 (開設学群・学類)	備 考
	教科に関する科目	最低修得単位数				
		中学校	高等学校			
中 国 語	中国語学	1以上	1以上	中国語学	(人文学類開設) ◎中国語学概論 a・b, 中国語文法論 a・b, 中国語語彙論 a・b, 中国語学演習 Ia・b, IIa・b, 中国語学特講 Ia・b, IIa・b	
	中国文学	1以上	1以上	中国文学	(比較文化学類開設) ◎中国文学概論, ◎中国文学史Ⅰ, ◎中国文学史Ⅱ, ◎中国文学講読Ⅰ・Ⅱ(2科目セット), 中国文学講読Ⅲ～Ⅳ, 中国文学演習Ⅰ～Ⅳ	下線4つ からい ずれか 選択必 修
	中国語コミュニケーション	1以上	1以上	中国語コミュニケーション	(人文学類開設) ◎中国語論文演習 a・b, ◎中国語作文演習 a・b	4科目か ら、a・b 続き2科 目を選択 必修
	異文化理解	1以上	1以上	異文化理解	(人文学類開設) ◎中国の言語と文化 a・b	
	合計 (中学一種, 高校一種)	20	20			

注) 本学における開設授業科目の欄中, ◎の付してあるものは, 免許取得の際の必修科目を表す。

人文・文化学群 比較文化学類

免許教科	免許法に規定する科目			区 分	本学における開設授業科目 (開設学群・学類)	備 考
	教科に関する科目	最低修得単位数				
		中学校	高等学校			
国    語	国語学（音声言語及び文章表現に関するものを含む。）	1以上	1以上	国語学（音声言語及び文章表現に関するものを含む。）	(日本語・日本文化学類開設) ◎現代日本語概論, 日本語の音声・音韻, 日本語の語彙, 日本語の文法と意味 I, 日本語の文法と意味 II, 日本語の談話	
	国文学（国文学史を含む。）	1以上	1以上	国文学	(比較文化学類開設) ◎日本文学概論 ◎日本文学講読1～10 日本文学演習1～10 日本文学特講1, 2	下線は11科目から2科目選択必修
				国文学史	(比較文化学類開設) ◎日本文学史1～4	下線は4科目から2科目選択必修
	漢文学	1以上	1以上	漢文学	(比較文化学類開設) ◎中国文学概論, ◎中国文学史 I, ◎中国文学史 II, ◎中国文学講読 I・II (2科目セット) 中国文学講読 III～IV 中国文学演習 I～IV	下線は4つからいずれか選択必修
	書道（書写を中心とする。）	1以上	—	書道（書写を中心とする。）	(共通科目開設) ◎芸術（書A・B・C）	1科目選択必修（中学のみ）
合計 (中学一種, 高校一種)	20	20				

- (注) 1. 教科に関する科目の欄中, ( ) 内のは必ず含めて修得しなければならない。  
 2. 本学における開設授業科目の欄中, ◎の付してあるものは, 免許取得の際の必修科目を表す。



人文・文化学群 比較文化学類

免許教科	免許法に規定する科目		区 分	本学における開設授業科目 (開設学群・学類) ※当該組織開設科目は、ゴシック表示	備 考	
	教科に関する科目	最低修得単位数				
社	日本史及び外国史	1 以上	日本史	(日本語・日本文化学類開設) ◎日本の歴史概論 (比較文化学類開設) ◎日本研究概論Ⅰ・Ⅱ(2科目セット) 民俗学概論, 日本研究Ⅰ・Ⅱ, 日本の生活と文化, 日本の宗教と文化, 日本の思想と社会, 民俗学研究Ⅰ・Ⅱ	下線2つ からいず れか選択 必修	
			外国史	(比較文化学類開設) ◎欧米研究概論, アジア研究概論Ⅰ・Ⅱ, 文化人類学概論, 文化創造論概論, 先端文化学概論Ⅰ・Ⅱ, 文化人類学研究Ⅰ・Ⅱ, 欧米文化論Ⅰ・Ⅱ・Ⅸ・Ⅹ (日本語・日本文化学類開設) ◎東洋の歴史と文化		
	地理学(地誌を含む)	1 以上	地理学	(比較文化学類開設) ◎文化地理学概論 ◎社会地理学A~C(3科目セット), ◎自然環境論, 比較文化地理学Ⅰ・Ⅱ	下線3つ からいず れか選 択必修	
			地誌	(地球学類開設) ◎地誌学 (比較文化学類開設) 地域研究論A~C, 地域地理学Ⅰ・Ⅱ		
	会	「法律学, 政治学」	1 以上	「法律学, 政治学」	(社会学類開設) ◎法学概論, ◎民事法概論, 民法総則, 契約, 事務管理・不当利得・不法行為, 債権総論, 物権, 担保物権, 親族・相続, 刑法Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ, 憲法Ⅰ~Ⅲ, 商法Ⅰ, 会社法Ⅰ・Ⅱ, 有価証券法基礎, 電子記録債権法(電子手形), 行政法, 刑事訴訟法, 刑事政策, 民事訴訟法A, 国際法Ⅰ, 国際組織法, ◎政治学, ◎政治思想, ◎政治外交史, 現代政治分析, 政治過程論, 行政学, 地方自治論, 比較政治学, アメリカの政治, 国際政治学, 国際紛争論Ⅰ・Ⅱ, アメリカ外交史, 現代政治外交Ⅰ・Ⅱ, 現代国際政治理論 (比較文化学類開設) 日本の政治と社会	下線は5 科目から 1科目選 択必修
		「社会学, 経済学」	1 以上	「社会学, 経済学」	(社会学類開設) ◎社会学基礎論 (比較文化学類開設) ◎情報文化特講Ⅱ, 情報文化概論Ⅰ・Ⅱ, コミュニケーション論, メディア・コミュニケーション論, 広告文化論, 映像文化論	下線は2 科目から 1科目選 択必修
		「哲学, 倫理学, 宗教学」	1 以上	「哲学, 倫理学, 宗教学」	(比較文化学類開設) ◎現代思想概論Ⅰ・Ⅱ から1科目, ◎比較宗教概論Ⅰ・Ⅱ から1科目 文化創造論研究Ⅴ, 表象芸術論研究Ⅰ・Ⅱ, 先端文化学研究Ⅲ~Ⅵ, 記号文化論, 分析哲学, 言語哲学, 科学哲学, 現代倫理学, 哲学カフェ, 日本・東洋思想史研究Ⅰ・Ⅱ, 比較思想研究, 比較思想史研究, 比較宗教論Ⅰ~Ⅷ	下線及 び二重 下線か ら2科目 選択必 修
	合計 (中学一種)	2 0				

- (注) 1. 教科に関する科目の欄中, ( ) 内のものは必ず含めて修得しなければならない。  
 2. 教科に関する科目の欄中, ○○及び○○とあるものは両科目修得しなければならない。  
 3. 教科に関する科目の欄中, 「 」内のものは1科目以上にわたり修得すればよい。  
 4. 本学における開設授業科目の欄中, ◎の付してあるものは, 免許取得の際の必修科目を表す。  
 5. 平成28年度以前に欧米研究概論を修得済みの者にあつては, ヨーロッパ史概説 a・b, オリエンタール史概説 a・b (人文学類開設) から1科目を選択し, 東洋の歴史と文化と併せて, 区分「外国史」の必修を満たすこと。  
 6. 平成28年度以前入学者にあつては, 地域研究論A~C(3科目セット)を必修科目とすることができる。

人文・文化学群 比較文化学類

免許教科	免許法に規定する科目		区 分	本学における開設授業科目 (開設学群・学類)	備 考
	教科に関する科目	最低修得単位数			
		高等学校			
地	日本史	1 以上	日本史	(日本語・日本文化学類開設) ◎日本の歴史概論 (比較文化学類開設) ◎日本研究概論Ⅰ・Ⅱ(2科目セット), 民俗学概論, 日本研究Ⅰ・Ⅱ, 日本の生活と文化, 日本の宗教と文化, 日本の思想と社会, 民俗学研究Ⅰ・Ⅱ	下線2つ からいずれ か選択 必修
	外国史	1 以上	外国史	(比較文化学類開設) ◎欧米研究概論, アジア研究概論Ⅰ・Ⅱ, 文化人類学概論, 文化創造論概論, 先端文化学概論Ⅰ・Ⅱ, 文化人類学研究Ⅰ・Ⅱ, 欧米文化論Ⅰ・Ⅱ・Ⅸ・Ⅹ (日本語・日本文化学類開設) ◎東洋の歴史と文化	
理	人文地理学及び自然 地理学	1 以上	人文地理学	(比較文化学類開設) ◎文化地理学概論 ◎社会地理学A~C, 比較文化地理学Ⅰ・Ⅱ	下線2つ からいずれ か選 択必修
			自然地理学	(比較文化学類開設) ◎自然環境論	
史	地誌	1 以上	地誌	(地球学類開設) ◎地誌学 (比較文化学類開設) 地域研究論A~C(3科目セット), 地域地理学Ⅰ・Ⅱ	
合計 (高校一種)		2 0			

- (注) 1. 教科に関する科目の欄中, ○○及び○○とあるものは両科目修得しなければならない。  
 2. 本学における開設授業科目の欄中, ◎の付してあるものは, 免許取得の際の必修科目を表す。  
 3. 平成28年度以前に欧米研究概論を修得済みの者にあつては, ヨーロッパ史概説 a・b, オリエンタ史概説 a・b (人文学類開設) から1科目を選択し, 東洋の歴史と文化と併せて, 区分「外国史」の必修を満たすこと。  
 4. 平成28年度以前入学者にあつては, 地域研究論 A~C (3科目セット) を必修科目とすることができる。

人文・文化学群 比較文化学類

免許教科	免許法に規定する科目		区 分	本学における開設授業科目 (開設学群・学類)	備 考
	教科に関する科目	最低修得単位数			
		高等学校			
公	「法律学(国際法を含む。), 政治学(国際政治を含む。)」	1 以上	法律学	(社会学類開設) ◎ <u>法学概論</u> , ◎ <u>民法概論</u> , 民法総則, 契約, 事務管理・不当利得・不法行為, 債権総論, 物権, 担保物権, 親族・相続, 刑法 I・II・III, 憲法 I~III, 商法 I, 会社法 I・II, 有価証券法基礎, 電子記録債権法(電子手形), 行政法, 刑事訴訟法, 刑事政策, 民事訴訟法 A	下線は2 科目から 1科目選 択必修
			国際法	(社会学類開設) 国際法 I, 国際組織法	
			政治学	(社会学類開設) ◎ <u>政治学</u> , ◎ <u>政治思想</u> , ◎ <u>政治外交史</u> , 現代政治分析, 政治過程論, 行政学, 地方自治論	下線は3 科目から 1科目選 択必修
			国際政治	(社会学類開設) 比較政治学, アメリカの政治, 国際政治学, 国際紛争論 I・II, アメリカ外交史, 現代政治外交 I・II, 現代国際政治理論	
民	「社会学, 経済学(国際経済を含む。)」	1 以上	社会学	(社会学類開設) ◎ <u>社会学基礎論</u> (比較文化学類開設) ◎ <u>情報文化特講 II</u>	下線は2 科目から 1科目選 択必修
			経済学(国際経済を含む。)	(比較文化学類開設) 情報文化概論 I・II, 広告文化論, 映像文化論, コミュニケーション論, メディア・コミュニケーション論	
	「哲学, 倫理学, 宗教学, 心理学」	1 以上	「哲学, 倫理学, 宗教学」	(比較文化学類開設) ◎ <u>現代思想概論 I・II</u> から1科目, ◎ <u>比較宗教概論 I・II</u> から1科目, 文化創造論研究 V, 表象芸術論研究 I・II, 先端文化学研究 III~VI, 記号文化論, 分析哲学, 言語哲学, 科学哲学, 現代倫理学, 哲学カフェ, 日本・東洋思想史研究 I・II, 比較思想研究, 比較思想史研究, 比較宗教論 I~VIII	下線及び 二重下線 から2科 目選択必 修
	合計 (高校一種)	20			

- (注) 1. 教科に関する科目の欄中, ( ) 内のものは必ず含めて修得しなければならない。  
 2. 教科に関する科目の欄中, 「 」内のものは1科目以上にわたり修得すればよい。  
 3. 本学における開設授業科目の欄中, ◎の付してあるものは, 免許取得の際の必修科目を表す。  
 4. 「法律学(国際法を含む。), 政治学(国際政治を含む。)」は、区分「法律学及び国際法」, 区分「政治学及び国際政治」のいずれかを最低限修得すること。

人文・文化学群 比較文化学類

免許教科	免許法に規定する科目		区 分	本学における開設授業科目 (開設学群・学類)	備 考	
	教科に関する科目	最低修得単位数				
		中学校				高等学校
英語	英語学	1 以上	1 以上	英語学	(人文学類開設) ◎英語学概論 a・b, ◎英語文法論・統語論(1)a・b, ◎英語文法論・統語論(2)a・b, 英語学演習(1)a・b, 英語学演習(2)a・b, 英語学演習(3)a・b, 英語学演習(4)a・b、 英語意味論・語用論(1)a・b, 英語意味論・語用論(2)a・b, 英語音韻論・形態論(1)a・b, 英語音韻論・形態論(2)a・b、 応用言語学講義 Ia・b, 応用言語学演習 Ia・b, 応用言語学演習 IIa・b	下線は6科目から1科目選択必修
	英米文学	1 以上	1 以上	英米文学	(比較文化学類開設) ◎イギリス文学史 I, ◎イギリス文学史 II, ◎アメリカ文学史 I, ◎アメリカ文学史 II, 英語圏文学・文化講読 I~IV 英語圏文学・文化研究 I~III カナダ文化特講 I	下線2科目から1科目選択必修及び二重下線から1科目選択必修
	英語コミュニケーション	1 以上	1 以上	英語コミュニケーション	(人文学類開設) ◎英語論文講読(1)a・b, ◎英語論文講読(2)a・b, ◎外書講読 Ia・b, ◎外書講読 IIa・b, 英語論文講読(3)a・b, 英語論文講読(4)a・b, 英語学論文演習 a・b	下線は8科目から1科目選択必修
	異文化理解	1 以上	1 以上	異文化理解	(比較文化学類開設) ◎欧米文化論 V, ◎欧米文化論 VI, ◎欧米文化論 VII, ◎欧米文化論 VIII	下線は4科目から1科目選択必修
合 計 (中学一種, 高校一種)		2 0	2 0			

(注) 本学における開設授業科目の欄中, ◎の付してあるものは, 免許取得の際の必修科目を表す。

人文・文化学群 比較文化学類

免許教科	免許法に規定する科目			区 分	本学における開設授業科目 (開設学群・学類)	備 考
	教科に関する科目	最低修得単位数				
		中学校	高等学校			
ド イ ツ 語	ドイツ語学	1以上	1以上	ドイツ語学	(人文学類開設) ◎独語学概論 a・b, ドイツ語文法論・統語論 a・b, ドイツ語意味論・語用論 a・b, ドイツ語学講義 Ia・b, IIa・b, IIIa・b, ドイツ語学演習 Ia・b, IIa・b, ドイツ語文法演習 a・b	
	ドイツ文学	1以上	1以上	ドイツ文学	(比較文化学類開設) ◎ <u>ドイツ語圏文学・文化論 I</u> ◎ <u>ドイツ語圏文学・文化論 III</u> ドイツ語圏文学・文化論 II, IV, V, VI ドイツ語圏文学・文化演習 I～VI	下線は2 科目から1 科目選択 必修
	ドイツ語コミュニケーション	1以上	1以上	ドイツ語コミュニケーション	(比較文化学類開設) ◎ <u>ドイツ語翻訳演習 I</u> ドイツ語翻訳演習 II ◎ <u>ドイツ語翻訳演習 III</u> ドイツ語翻訳演習 IV	下線は2 科目から 1科目選 択必修
	異文化理解	1以上	1以上	異文化理解	(比較文化学類開設) ◎ドイツ語圏文学・文化概論 ヨーロッパ文学・文化概論	
合 計 (中学一種, 高校一種)		20	20			

(注) 本学における開設授業科目の欄中, ◎の付してあるものは, 免許取得の際の必修科目を表す。

免許教科	免許法に規定する科目			区 分	本学における開設授業科目 (開設学群・学類)	備 考
	教科に関する科目	最低修得単位数				
		中学校	高等学校			
フ ラ ン ス 語	フランス語学	1以上	1以上	フランス語学	(人文学類開設) ◎仏語文法論 a・b, 仏語学概論 a・b, 仏語文法講読 a・b, 仏語意味論 a・b, 仏語史講義 a・b, 仏語学演習 Ia・b, IIa・b, IIIa・b, IVa・b	
	フランス文学	1以上	1以上	フランス文学	(比較文化学類開設) ◎ <u>フランス語圏文学・文化概論 I</u> , ◎ <u>フランス語圏文学・文化講読 I</u> , ◎ <u>フランス語圏文学・文化講読 III</u> , フランス語圏文学・文化講読 II, IV	下線は3 科目から 1科目選 択必修
	フランス語コミュニケーション	1以上	1以上	フランス語コミュニケーション	(人文学類開設) ◎仏語音声学・音韻論 a・b, 仏作文会話演習 Ia・b, IIa・b, (比較文化学類開設) フランス語圏文学・文化演習 I・II	
	異文化理解	1以上	1以上	異文化理解	(比較文化学類開設) ◎フランス語圏文学・文化概論 II※ テキスト文化学研究 II, テキスト文化学演習 III	
合 計 (中学一種, 高校一種)		20	20			

(注) 1. 本学における開設授業科目の欄中, ◎の付してあるものは, 免許取得の際の必修科目を表す。

2. ※印の科目は平成26年度までに取得した場合、「フランス文学」の区分に属する。

人文・文化学群 比較文化学類

免許教科	免許法に規定する科目			区 分	本学における開設授業科目 (開設学群・学類)	備 考
	教科に関する科目	最低修得単位数				
		中学校	高等学校			
中 国 語	中国語学	1 以上	1 以上	中国語学	(人文学類開設) ◎中国語学概論 a・b, 中国語文法論 a・b, 中国語語彙論 a・b, 中国語学演習 Ia・b, IIa・b, 中国語学特講 Ia・b, IIa・b	
	中国文学	1 以上	1 以上	中国文学	(比較文化学類開設) ◎中国文学概論, ◎中国文学史 I, ◎中国文学史 II, ◎中国文学講読 I・II (2科目セット) 中国文学講読 III～IV 中国文学演習 I～IV	下線4つ からい ずれか 選択 必修
	中国語コミュニケーション	1 以上	1 以上	中国語コミュニケーション	(人文学類開設) ◎中国語論文演習 a・b ◎中国語作文演習 a・b	4科目か ら、a・b 続き2科 目を選 択必修
	異文化理解	1 以上	1 以上	異文化理解	(比較文化学類開設) ◎アジアの民族と文化 I, アジアの民族と文化 II	
合 計 (中学一種, 高校一種)		2 0	2 0			

(注) 本学における開設授業科目の欄中, ◎の付してあるものは, 免許取得の際の必修科目を表す。

人文・文化学群 日本語・日本文化学類

免許教科	免許法に規定する科目		区 分	本学における開設授業科目 (開設学群・学類)	備 考	
	教科に関する科目	最低修得単位数				
		中学校				高等学校
国  語	国語学（音声言語及び文章表現に関するものを含む。）	1 以上	1 以上	国語学（音声言語及び文章表現に関するものを含む。）	（日本語・日本文化学類開設） ◎現代日本語概論 日本語の音声・音韻，日本語の語彙，日本語の文法と意味 I，日本語の文法と意味 II，日本語の文法と意味 IIIa，日本語の文法と意味 IIIb，日本語の談話，日本語の音声・音韻演習，日本語の語彙演習，日本語の文法と意味演習 I，日本語の文法と意味演習 II，日本語の談話演習，日本語史，日本語史演習，日本語学史，日本語研究フィールド実習	
	国文学（国文学史を含む。）	1 以上	1 以上	国文学	（日本語・日本文化学類開設） ◎日本の文学概論，日本文学とその特質 I・II，日本文学とその特質演習 I・II，世界文学と日本文学，世界文学と日本文学演習	
				国文学史	（日本語・日本文化学類開設） ◎日本文学の歴史	
	漢文学	1 以上	1 以上	漢文学	（日本語・日本文化学類開設） ◎中国文学と日本文学， ◎中国文学と日本文学演習	1科目選択必修
	書道（書写を中心とする。）	1 以上	—	書道（書写を中心とする。）	（共通科目開設） ◎芸術（書A・B・C）	1科目選択必修（中学のみ）
合 計 (中学一種，高校一種)	2 0	2 0				

- (注) 1. 教科に関する科目の欄中，( ) 内のは必ず含めて修得しなければならない。  
 2. 本学における開設授業科目の欄中，◎の付してあるものは，免許取得の際の必修科目を表す。

人文・文化学群 日本語・日本文化学類

免許教科	免許法に規定する科目		区 分	本学における開設授業科目 (開設学群・学類)	備 考
	教科に関する科目	最低修得単位数			
		中学校			
社	日本史及び外国史	1 以上	日本史	(日本語・日本文化学類開設) ◎日本の歴史概論, 日本の宗教と芸能, 日本の宗教と芸能演習, 日本文化資料講読, 日本の科学と技術の文化史, 日本の経済と文化, 近代日本の国際関係, 近代日本の国際関係演習, 日本の伝統文化	
			外国史	(日本語・日本文化学類開設) ◎東洋の歴史と文化 (比較文化学類開設) ◎欧米研究概論, 文化人類学概論	
会	地理学(地誌を含む。)	1 以上	地理学	(比較文化学類開設) ◎文化地理学概論 ◎社会地理学 A~C(3科目セット), ◎自然環境論, (日本語・日本文化学類開設) 生活文化の地理, 生活文化の地理演習	下線3つ からい ずれか 選択 必修
			地誌	(地球学類開設) ◎地誌学 (比較文化学類開設) 地域研究論 A~C, (日本語・日本文化学類開設) 日本の地誌と生活, 日本の地誌と生活演習	
	「法律学, 政治学」	1 以上	「法律学, 政治学」	(日本語・日本文化学類開設) ◎日本の政治と社会 I・II, 日本の政治と社会演習 I・II	
	「社会学, 経済学」	1 以上	「社会学, 経済学」	(社会学類開設) ◎社会学基礎論, ◎現代社会論, ◎現代経済史, ◎経済学基礎論 (日本語・日本文化学類開設) 日本の社会と民俗, 日本の社会と民俗演習, 日本の教育, 現代社会論, 現代社会論演習 国際教育概論, 国際理解教育, 国際理解教育演習, 文化交流論, 文化交流論演習, 日本語・日本文化国際研修 I~III	下線は4 科目か ら1科目 選択必 修
	「哲学, 倫理学, 宗教学」	1 以上	「哲学, 倫理学, 宗教学」	(比較文化学類開設) ◎現代思想概論 I・II から1科目, ◎比較宗教概論 I・II から1科目 (日本語・日本文化学類開設) 文化基礎論, 日本の思想演習	下線及 び二重 下線か ら2科目 選択必 修
合 計 (中学一種)		20			

- (注) 1. 教科に関する科目の欄中, ( ) 内のものは必ず含めて修得しなければならない。  
 2. 教科に関する科目の欄中, ○○及び○○とあるものは両科目修得しなければならない。  
 3. 教科に関する科目の欄中, 「 」内のものは1科目以上にわたり修得すればよい。  
 4. 本学における開設授業科目の欄中, ◎の付してあるものは, 免許取得の際の必修科目を表す。  
 5. 平成28年度以前に欧米研究概論を修得済みの者にあつては, ヨーロッパ史概説 a・b, オリエンタール史概説 a・b (人文学類開設) から1科目を選択し, 東洋の歴史と文化と併せて, 区分「外国史」の必修を満たすこと。  
 6. 平成28年度以前入学者にあつては, 地域研究論 A~C (3科目セット) を必修科目とすることができる。



人文・文化学群 日本語・日本文化学類

免許教科	免許法に規定する科目		区 分	本学における開設授業科目 (開設学群・学類)	備 考
	教科に関する科目	最低修得単位数			
		高等学校			
地 理 史	日本史	1 以上	日本史	(日本語・日本文化学類開設) ◎日本の歴史概論, 日本の宗教と芸能, 日本の宗教と芸能演習, 日本文化資料講読, 日本の科学と技術の文化史, 日本の経済と文化, 近代日本の国際関係, 近代日本の国際関係演習, 日本の伝統文化	
	外国史	1 以上	外国史	(日本語・日本文化学類開設) ◎東洋の歴史と文化 (比較文化学類開設) ◎欧米研究概論, 文化人類学概論	
	人文地理学及び自然 地理学	1 以上	人文地理学	(日本語・日本文化学類開設) ◎生活文化の地理, 生活文化の地理演習	
			自然地理学	(比較文化学類開設) ◎自然環境論	
地誌	1 以上	地誌	(地球学類開設) ◎地誌学 (比較文化学類開設) 地域研究論 A~C, (日本語・日本文化学類開設) 日本の地誌と生活, 日本の地誌と生活演習		
合 計 (高校一種)		2 0			

- (注) 1. 教科に関する科目の欄中, ○○及び○○とあるものは両科目修得しなければならない。  
 2. 本学における開設授業科目の欄中, ◎の付してあるものは, 免許取得の際の必修科目を表す。  
 3. 平成28年度以前に欧米研究概論を修得済みの者にあつては, ヨーロッパ史概説 a・b, オリエンタ史概説 a・b (人文学類開設) から1科目を選択し、東洋の歴史と文化と併せて、区分「外国史」の必修を満たすこと。  
 4. 平成28年度以前入学者にあつては、地域研究論 A~C (3科目セット) を必修科目とすることができる。

社会・国際学群 社会学類

免許教科	免許法に規定する科目		区 分	本学における開設授業科目 (開設学群・学類)	備 考
	教科に関する科目	最低修得単位数 中学校			
社	日本史及び外国史	1 以上	日本史	(人文学類開設) ◎日本史概説 Ia・b, <u>Ila・b</u> , <u>IIIa・b</u> , 歴史地理学概説 a・b, 民俗学概説 a・b	下線6科目から a・b と続く2科目を選択必修
			外国史	(人文学類開設) ◎東洋史概説 a・b, ◎ヨーロッパ史概説 a・b, ◎オリエント史概説 a・b, 先史学概説 a・b, 文化人類学概説 a・b	下線2科目から1科目選択必修及び二重下線4科目から1科目選択必修
	地理学(地誌を含む。)	1 以上	地理学	(地球学類開設) ◎人文地理学, 交通地理学, 地理情報システム A・B, 地形学, 海洋学, 地球環境学 A・B, 地生態学 (比較文化学類開設) 自然環境論	
			地誌	(地球学類開設) ◎地誌学, 世界地誌 I～III	
	「法律学, 政治学」	1 以上	「法律学, 政治学」	(社会学類開設) ◎法学概論, ◎民事法概論, 民法総則, 契約, 事務管理・不当利得・不法行為, 債権総論, 物権, 担保物権, 親族・相続, 刑法 I・II・III, 憲法 I～III, 商法 I, 会社法 I・II, 有価証券法基礎, 電子記録債権法(電子手形), 行政法, 刑事訴訟法, 刑事政策, 民事訴訟法 A, 国際法 I, 国際組織法, ◎政治学, ◎政治思想, ◎政治外交史, 現代政治分析, 政治過程論, 行政学, 地方自治論, 比較政治学, アメリカの政治, 国際政治学, 国際紛争論 I・II, アメリカ外交史, 現代政治外交 I・II, 現代国際政治理論	下線は5科目から1科目選択必修
会	「社会学, 経済学」	1 以上	「社会学, 経済学」	(社会学類開設) ◎社会学基礎論, ◎現代社会論, 現代社会学の系譜, ジェンダー社会論, 都市社会学, 組織社会学, 知識社会学, 逸脱行動論-犯罪社会学 I, スポーツ文化論, 歴史社会学, 世界経済史, ミクロ経済学, マクロ経済学, Comparative Economics, 日本経済史, ◎現代経済学, ◎経済学基礎論, 日本経済論, 経済数学, 経済思想史 I・II, 情報文化概論 I・II, コミュニケーション論, メディア・コミュニケーション論	下線は4科目から1科目選択必修
	「哲学, 倫理学, 宗教学」	1 以上	「哲学, 倫理学, 宗教学」	(人文学類開設) ◎哲学通論 a・b, ◎倫理学通論 a・b, ◎宗教学通論 a・b, 日本思想 a・b, 東洋思想 a・b	下線は6科目から2科目選択必修
合 計 (中学一種)		20			

- (注) 1. 教科に関する科目の欄中, ( ) 内のものは必ず含めて修得しなければならない。  
 2. 教科に関する科目の欄中, ○○及び○○とあるものは両科目修得しなければならない。  
 3. 教科に関する科目の欄中, 「 」内のものは1科目以上にわたり修得すればよい。  
 4. 本学における開設授業科目の欄中, ◎の付してあるものは, 免許取得の際の必修科目を表す。

社会・国際学群 社会学類

免許教科	免許法に規定する科目		区 分	本学における開設授業科目 (開設学群・学類)	備 考	
	教科に関する科目	最低修得単位数				
		高等学校				
公	「法律学(国際法を含む。), 政治学(国際政治を含む。)」	1 以上	法律学	(社会学類開設) ◎ <u>法学概論</u> , ◎ <u>民法概論</u> , 民法総則, 契約, 事務管理・不当利得・不法行為, 債権総論, 物権, 担保物権, 親族・相続, 刑法 I・II・III, 憲法 I~III, 商法 I, 会社法 I・II, 有価証券法基礎, 電子記録債権法(電子手形), 行政法, 刑事訴訟法, 刑事政策, 民事訴訟法 A	下線は2 科目から 1科目選 択必修	
			国際法	(社会学類開設) 国際法 I, 国際組織法		
			政治学	(社会学類開設) ◎ <u>政治学</u> , ◎ <u>政治思想</u> , ◎ <u>政治外交史</u> , 現代政治分析, 政治過程論, 行政学, 地方自治論		下線は3 科目から 1科目選 択必修
			国際政治	(社会学類開設) 比較政治学, アメリカの政治, 国際政治学, 国際紛争論 I・II, アメリカ外交史, 現代政治外交 I・II, 現代国際政治理論		
民	「社会学, 経済学(国際経済を含む。)」	1 以上	社会学	(社会学類開設) ◎ <u>社会学基礎論</u> , ◎ <u>現代社会論</u> , 現代社会学の系譜, ジェンダー社会論, 都市社会学, 組織社会学, 知識社会学, 逸脱行動論-犯罪社会学 I, スポーツ文化論, 歴史社会学	下線は2 科目から 1科目選 択必修	
			経済学	(社会学類開設) ミクロ経済学, マクロ経済学, 日本経済史, ◎ <u>現代経済史</u> , ◎ <u>経済学基礎論</u> , 日本経済論, 経済思想史 I・II, 経済数学		下線は2 科目から 1科目選 択必修
			経済学(国際経済を含む。)	(社会学類開設) 世界経済史, Comparative Economics, 情報文化概論 I・II, コミュニケーション論, メディア・コミュニケーション論		
	「哲学, 倫理学, 宗教学, 心理学」	1 以上	「哲学, 倫理学, 宗教学」	(人文学類開設) ◎ <u>哲学通論 a・b</u> , ◎ <u>倫理学通論 a・b</u> , ◎ <u>宗教学通論 a・b</u> , 日本思想 a・b, 東洋思想 a・b	下線は6 科目から 2科目選 択必修	
合 計 (高校一種)		20				

- (注) 1. 教科に関する科目の欄中, ( ) 内のものは必ず含めて修得しなければならない。  
 2. 教科に関する科目の欄中, 「 」内のものは1科目以上にわたり修得すればよい。  
 3. 本学における開設授業科目の欄中, ◎の付してあるものは, 免許取得の際の必修科目を表す。  
 4. 「法律学(国際法を含む。), 政治学(国際政治を含む。)」は, 区分「法律学及び国際法」, 区分「政治学及び国際政治」のいずれかを最低限修得すること。  
 5. 「社会学, 経済学(国際経済を含む。)」は, 区分「社会学」, 区分「経済学及び経済学(国際経済を含む。)」のいずれかを最低限修得すること。

社会・国際学群 国際総合学類

免許教科	免許法に規定する科目		区 分	本学における開設授業科目 (開設学群・学類)	備 考
	教科に関する科目	最低修得単位数			
社	日本史及び外国史	1 以上	日本史	(日本語・日本文化学類開設) ◎日本の歴史概論 (国際総合学類開設) 現代日本外交史	
			外国史	(日本語・日本文化学類開設) ◎東洋の歴史と文化 (比較文化学類開設) ◎欧米研究概論 (国際総合学類開設) 国際関係史序説	
	地理学(地誌を含む。)	1 以上	地理学	(地球学類開設) ◎人文地理学 (比較文化学類開設) 自然環境論 (国際総合学類開設) 野外調査法	
			地誌	(地球学類開設) ◎地誌学	
	「法律学, 政治学」	1 以上	「法律学, 政治学」	(国際総合学類開設) ◎国際学概論Ⅰ, ◎国際学概論Ⅱ, 法学概論, 比較政治学, 国際政治学, 国際機構論, 国際相互依存論, 国際政治経済学Ⅰ, 国際法概論, 国際法Ⅰ, 国際組織法, 日本政治	下線は2科目から1科目選択必修
	「社会学, 経済学」	1 以上	「社会学, 経済学」	(国際総合学類開設) ◎国際学概論Ⅲ, ◎国際学概論Ⅳ, 国際経済論, 開発経済学, 国際金融論, 国際貿易論, 計量経済学, 初級ミクロ経済学, 世界経済史, 公共経済学, 経済数学, マクロ経済学概論, 現代社会論, 都市経済学, ヨーロッパ社会経済史, Comparative Economics, 社会開発論, ジェンダー社会論	下線は2科目から1科目選択必修
「哲学, 倫理学, 宗教学」	1 以上	「哲学, 倫理学, 宗教学」	(全学群対象) ◎哲学通論CⅠ, CⅡ, DⅠ, DⅡ 〔哲学通論CⅠ, DⅠは同一科目〕 〔哲学通論CⅡ, DⅡは同一科目〕 (人文学類開設) 哲学通論 a・b, 倫理学通論 a・b, 宗教学通論 a・b		
合 計 (中学一種)		2 0			

- (注) 1. 教科に関する科目の欄中, ( ) 内のものは必ず含めて修得しなければならない。  
 2. 教科に関する科目の欄中, ○○及び○○とあるものは両科目修得しなければならない。  
 3. 教科に関する科目の欄中, 「 」内のものは1科目以上にわたり修得すればよい。  
 4. 本学における開設授業科目の欄中, ◎の付してあるものは, 免許取得の際の必修科目を表す。

社会・国際学群 国際総合学類

免許教科	免許法に規定する科目		区 分	本学における開設授業科目 (開設学群・学類)	備 考
	教科に関する科目	最低修得単位数			
		高等学校			
公	「法律学(国際法を含む。), 政治学(国際政治を含む。)」	1 以上	法律学	(国際総合学類開設) ◎法学概論	
			国際法	(国際総合学類開設) ◎国際法概論 国際法 I, 国際組織法	
			政治学	(国際総合学類開設) ◎比較政治学 日本政治, 現代日本外交史	
			国際政治	(国際総合学類開設) ◎国際学概論 I, ◎国際学概論 II, 国際政治学, 国際機構論, 国際相互依存論, 国際政治経済学 I	下線は2科目から1科目選択必修
民	「社会学, 経済学(国際経済を含む。)」	1 以上	社会学	(国際総合学類開設) ◎国際学概論IV, 現代社会論, ジェンダー社会論	
			経済学	(国際総合学類開設) ◎初級ミクロ経済学 計量経済学, マクロ経済学概論, 世界経済史, 都市経済学, 公共経済学, 経済数学, ヨーロッパ社会経済史, Comparative Economics	
			国際経済	(国際総合学類開設) ◎国際学概論III, 国際経済論, 開発経済学, 国際金融論, 国際貿易論, 社会開発論	
	「哲学, 倫理学, 宗教学, 心理学」	1 以上	「哲学, 倫理学, 宗教学, 心理学」	(全学群対象) ◎哲学通論C I, C II, D I, D II 〔哲学通論C I, D I は同一科目〕 〔哲学通論C II, D II は同一科目〕 (人文学類開設) 哲学通論 a・b, 倫理学通論 a・b, 宗教学通論 a・b (心理学類開設) 社会心理学	
合 計 (高校一種)		2 0			

- (注) 1. 教科に関する科目の欄中, ( ) 内のものは必ず含めて修得しなければならない。  
 2. 教科に関する科目の欄中, 「 」内のものは1科目以上にわたり修得すればよい。  
 3. 本学における開設授業科目の欄中, ◎の付してあるものは, 免許取得の際の必修科目を表す。  
 4. 「法律学(国際法を含む。), 政治学(国際政治を含む。)」は, 区分「法律学及び国際法」, 区分「政治学及び国際政治」のいずれかを最低限修得すること。  
 5. 「社会学, 経済学(国際経済を含む。)」は, 区分「社会学」, 区分「経済学及び国際経済」のいずれかを最低限修得すること。

社会・国際学群 国際総合学類

免許教科	免許法に規定する科目		区 分	本学における開設授業科目 (開設学群・学類)	備 考
	教科に関する科目	最低修得単位数			
		高等学校			
情    報	情報社会及び情報倫理	1以上	情報社会及び情報倫理	(理工学群開設) ◎科学技術倫理 知的財産と技術移転	
	コンピュータ及び情報処理(実習を含む。)	1以上	コンピュータ及び情報処理(実習を含む。)	(国際総合学類開設) ◎情報科学Ⅰ 情報科学Ⅱ,	
	情報システム(実習を含む。)	1以上	情報システム(実習を含む。)	(国際総合学類開設) ◎Cプログラミング, データ解析	
	情報通信ネットワーク(実習を含む。)	1以上	情報通信ネットワーク	(国際総合学類開設) 情報セキュリティ	
			情報通信ネットワーク(実習を含む。)	(情報科学類開設) ◎コンピュータネットワーク	
	マルチメディア表現及び技術(実習を含む。)	1以上	マルチメディア表現及び技術	(国際総合学類開設) 音声聴覚情報処理, パターン認識, デジタル信号処理	
マルチメディア表現及び技術(実習を含む。)			(国際総合学類開設) ◎知能情報メディア実験B		
情報と職業	1以上	情報と職業	(教職科目その他開設) ◎情報と職業		
合 計 (高校一種)		20			

- (注) 1. 教科に関する科目の欄中, ( ) 内のものは必ず含めて修得しなければならない。  
 2. 教科に関する科目の欄中, ○○及び○○とあるものは両科目修得しなければならない。  
 3. 本学における開設授業科目の欄中, ◎の付してあるものは, 免許取得の際の必修科目を表す。

社会・国際学群 国際総合学類

免許教科	免許法に規定する科目		区 分	本学における開設授業科目 (開設学群・学類)	備 考	
	教科に関する科目	最低修得単位数				
		中学校				高等学校
英	英語学	1 以上	1 以上	英語学	(人文学類開設) ◎ <u>英語学概論 a, b</u> ◎ <u>英語文法論・統語論(1) a, b</u> ◎ <u>英語文法論・統語論(2) a, b</u>	下線は6科目から1科目選択必修
	英米文学	1 以上	1 以上	英米文学	(比較文化学類開設) ◎ <u>イギリス文学史 I,</u> ◎ <u>イギリス文学史 II,</u> ◎ <u>アメリカ文学史 I,</u> ◎ <u>アメリカ文学史 II,</u> 英語圏文学・文化講読 I~IV 英語圏文学・文化研究 I~III カナダ文化特講 I	下線2科目から1科目選択必修及び二重下線から1科目選択必修
語	英語コミュニケーション	1 以上	1 以上	英語コミュニケーション	(国際総合学類開設) ◎ <u>English Discussion Seminar (A)</u> ◎ <u>English Discussion Seminar (B)</u> ◎ <u>English Discussion Seminar (C)</u> ◎ <u>English Discussion Seminar (D)</u> ◎ <u>English Discussion Seminar (E)</u> ◎ <u>English Discussion Seminar (F)</u> グローバルコミュニケーション論, 言語人類学, English Debate	下線6科目から1科目選択必修
	異文化理解	1 以上	1 以上	異文化理解	(国際総合学類開設) ◎文化・開発論 比較行政学, カナダ政治, 開発人類学, 人口と開発, ヨーロッパの国際関係	
合 計 (中学一種, 高校一種)		2 0	2 0			

(注) 本学における開設授業科目の欄中, ◎の付してあるものは, 免許取得の際の必修科目を表す。

人間学群 教育学類

免許教科	免許法に規定する科目		区 分	本学における開設授業科目 (開設学群・学類)	備 考
	教科に関する科目	最低修得単位数			
		中学校			
社	日本史及び外国史	1 以上	日本史	(日本語・日本文化学類開設) ◎日本の歴史概論 (教育学類開設) 日本教育史,	
			外国史	(比較文化学類開設) ◎欧米研究概論 (日本語・日本文化学類開設) ◎東洋の歴史と文化 (教育学類開設) 外国教育史, アジア教育史	
	地理学 (地誌を含む。)	1 以上	地理学	(比較文化学類開設) ◎文化地理学概論 ◎社会地理学 A~C (3科目セット), ◎自然環境論, 比較文化地理学 I・II, (教育学類開設) 比較教育文化論	下線3つ からい ずれか 選択 必修
			地誌	(比較文化学類開設) 地域研究論 A~C , 地域地理学 I・II (地球学類開設) ◎地誌学 (教育学類開設) 地域と教育	
	「法律学, 政治学」	1 以上	「法律学, 政治学」	(社会学類開設) ◎法学概論 (教育学類開設) 教育法制論, 教育行財政論	
	「社会学, 経済学」	1 以上	「社会学, 経済学」	(社会学類開設) ◎社会学基礎論 (教育学類開設) 教育社会学 I, 教育社会学 II	
「哲学, 倫理学, 宗教学」	1 以上	「哲学, 倫理学, 宗教学」	(教育学類開設) 道徳教育論 比較道徳教育論 (比較文化学類開設) ◎現代思想概論 I・II から 1 科目, ◎比較宗教概論 I・II から 1 科目, 文化創造論研究 V, 表象芸術論研究 I・II, 先端文化学研究 III~VI, 記号文化論, 分析哲学, 言語哲学, 科学哲学, 現代倫理学, 哲学カフェ, 日本・東洋思想史研究 I・II, 比較思想研究, 比較思想史研究, 比較宗教論 I~VIII	下線及び 二重下 線から 2科目 選択必 修	
合計 (中学一種)	20				

- (注) 1. 教科に関する科目の欄中, ( ) 内のものは必ず含めて修得しなければならない。  
 2. 教科に関する科目の欄中, ○○及び○○とあるものは両科目修得しなければならない。  
 3. 教科に関する科目の欄中, 「 」内のものは1科目以上にわたり修得すればよい。  
 4. 本学における開設授業科目の欄中, ◎の付してあるものは, 免許取得の際の必修科目を表す。  
 5. 平成28年度以前に欧米研究概論を修得済みの者にあつては, ヨーロッパ史概説 a・b, オリエンタ史概説 a・b (人文学類開設) から1科目を選択し、東洋の歴史と文化と併せて、区分「外国史」の必修を満たすこと。  
 6. 平成28年度以前入学者にあつては、地域研究論 A~C (3科目セット) を必修科目とすることができる。



人間学群 教育学類

免許教科	免許法に規定する科目		区 分	本学における開設授業科目 (開設学群・学類)	備 考
	教科に関する科目	最低修得単位数			
		高等学校			
地	日本史	1 以上	日本史	(日本語・日本文化学類開設) ◎日本の歴史概論 (教育学類開設) 日本教育史,	
	外国史	1 以上	外国史	(比較文化学類開設) ◎欧米研究概論 (日本語・日本文化学類開設) ◎東洋の歴史と文化 (教育学類開設) 外国教育史, アジア教育史	
理	人文地理学及び自然地理学	1 以上	人文地理学	(比較文化学類開設) ◎文化地理学概論 ◎社会地理学 A~C (3 科目セット), 比較文化地理学 I・II, (教育学類開設) 比較教育文化論	下線2つ からい ずれか 選択必 修
			自然地理学	(比較文化学類開設) ◎自然環境論	
史	地誌	1 以上	地誌	(比較文化学類開設) 地域研究論 A~C, 地域地理学 I・II (地球学類開設) ◎地誌学 (教育学類開設) 地域と教育	
合 計 (高校一種)		2 0			

- (注) 1. 教科に関する科目の欄中, ○○及び○○とあるものは両科目修得しなければならない。  
 2. 本学における開設授業科目の欄中, ◎の付してあるものは, 免許取得の際の必修科目を表す。  
 3. 平成28年度以前に欧米研究概論を修得済みの者にあつては, ヨーロッパ史概説 a・b、オリエント史概説 a・b (人文学類開設) から1科目を選択し、東洋の歴史と文化と併せて、区分「外国史」の必修を満たすこと。  
 4. 平成28年度以前入学者にあつては、地域研究論 A~C (3科目セット) を必修科目とすることができる。

人間学群 教育学類

免許 教科	免許法に規定する科目		区 分	本学における開設授業科目 (開設学群・学類)	備 考
	教科に関する科目	最低修得単位数			
		高等学校			
公	「法律学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」	1 以上	法律学	(社会学類開設) ◎法学概論	下線は3 科目から 1科目選 択必修
			国際法	(社会学類開設) <u>国際法Ⅰ</u> 、 <u>国際法Ⅱ</u> 、 <u>国際組織法</u> (教育学類開設) 教育法制論、 教育行財政論	
	「社会学、経済学（国際経済を含む。）」	1 以上	社会学	(社会学類開設) ◎社会学基礎論 (教育学類開設) 教育社会学Ⅰ、教育社会学Ⅱ	
民	「哲学、倫理学、宗教学、心理学」	1 以上	「哲学、倫理学、宗教学、心理学」	(人間学群コア・カリキュラム開設) ◎ <u>心理学Ⅰ</u> 、 ◎ <u>心理学Ⅱ</u> (心理学類開設) 社会心理学、 青年心理学 (比較文化学類開設) ◎現代思想概論Ⅰ・Ⅱから1科目、 ◎ <u>比較宗教概論Ⅰ・Ⅱから1科目</u> 、 文化創造論研究Ⅴ、 表象芸術論研究Ⅰ・Ⅱ、 先端文化学研究Ⅲ～Ⅵ、記号文化論、 分析哲学、言語哲学、科学哲学、 現代倫理学、哲学カフェ、 日本・東洋思想史研究Ⅰ・Ⅱ、 比較思想研究、比較思想史研究、 比較宗教論Ⅰ～Ⅷ (教育学類開設) 道徳教育論 比較道徳教育論	下線は 2科目 から1 科目選 択必修  下線及 び二重 下線か ら2科目 選択必 修
合 計 (高校一種)		20			

- (注) 1. 教科に関する科目の欄中、( ) 内のものは必ず含めて修得しなければならない。  
 2. 教科に関する科目の欄中、「 」内のものは1科目以上にわたり修得すればよい。  
 3. 本学における開設授業科目の欄中、◎の付してあるものは、免許取得の際の必修科目を表す。

人間学群 心理学類

免許教科	免許法に規定する科目		区 分	本学における開設授業科目 (開設学群・学類)	備 考
	教科に関する科目	最低修得単位数 高等学校			
公  民	「法律学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」	1 以上	法律学	(社会学類開設) ◎法学概論	1科目選択必修
			国際法	(社会学類開設) 国際法Ⅰ， 国際法Ⅱ， 国際組織法	
	「社会学，経済学（国際経済を含む。）」	1 以上	社会学	(社会学類開設) ◎社会学基礎論 (心理学類開設) 社会心理学， 対人社会心理学	
	「哲学，倫理学，宗教学，心理学」	1 以上	「哲学，倫理学，宗教学，心理学」	(人間学群コア・カリキュラム開設) ◎心理学Ⅰ， ◎心理学Ⅱ (心理学類開設) 青年心理学 (比較文化学類開設) ◎現代思想概論Ⅰ・Ⅱ から1科目， ◎比較宗教概論Ⅰ・Ⅱ から1科目， 文化創造論研究Ⅴ，表象芸術論研究Ⅰ・Ⅱ， 先端文化学研究Ⅲ～Ⅵ，記号文化論， 分析哲学，言語哲学，科学哲学， 現代倫理学，哲学カフェ， 日本・東洋思想史研究Ⅰ・Ⅱ， 比較思想研究，比較思想史研究， 比較宗教論Ⅰ～Ⅷ	下線は2科目から1科目選択必修  下線及び二重下線から2科目選択必修
	合 計 (高校一種)	20			

- (注) 1. 教科に関する科目の欄中，( ) 内ものは必ず含めて修得しなければならない。  
 2. 教科に関する科目の欄中，「 」内ものは1科目以上にわたり修得すればよい。  
 3. 本学における開設授業科目の欄中，◎の付してあるものは，免許取得の際の必修科目を表す。

人間学群 障害科学類

免許教科	免許法に規定する科目		区 分	本学における開設授業科目 (開設学群・学類)	備 考
	教科に関する科目	最低修得単位数			
		高等学校			
福          社	社会福祉学（職業指導を含む。）	1 以上	社会福祉学（職業指導を含む。）	（障害科学類開設） ◎社会福祉原論Ⅰ 社会福祉原論Ⅱ	
	高齢者福祉，児童福祉及び障害者福祉	1 以上	高齢者福祉	（障害科学類開設） ◎高齢者福祉論	
			児童福祉	（障害科学類開設） ◎児童福祉論	
			障害者福祉	（障害科学類開設） ◎障害者福祉論	
	社会福祉援助技術	1 以上	社会福祉援助技術	（障害科学類開設） ◎相談援助の基盤と専門職Ⅰ ◎相談援助の基盤と専門職Ⅱ ◎相談援助の理論と方法Ⅰ ◎相談援助の理論と方法Ⅱ 相談援助の理論と方法Ⅲ 相談援助の理論と方法Ⅳ 社会福祉調査論 地域福祉の理論と方法Ⅰ 地域福祉の理論と方法Ⅱ 権利擁護と成年後見制度 就労支援サービス論	
	介護理論及び介護技術	1 以上	介護理論	（障害科学類開設） ◎介護概論	
			介護技術	（障害科学類開設） ◎介護技術	
	社会福祉総合実習（社会福祉援助実習及び社会福祉施設等における介護実習を含む。）	1 以上	社会福祉総合実習（社会福祉援助実習及び社会福祉施設等における介護実習を含む。）	（障害科学類開設） 介護実習（事前及び事後指導含む。） ソーシャルワーク実習  ソーシャルワーク演習Ⅰ ソーシャルワーク演習Ⅱ ソーシャルワーク演習Ⅲ	1科目選択必修   1科目選択必修
	人体構造及び日常生活行動に関する理解	1 以上	人体構造及び日常生活行動に関する理解	（障害科学類開設） ◎医学概論Ⅰ	
	加齢及び障害に関する理解	1 以上	加齢及び障害に関する理解	（障害科学類開設） ◎高齢障害学 ◎障害原理論Ⅰ	
合 計 (高校一種)	20				

- (注) 1. 教科に関する科目の欄中，( ) 内のものは必ず含めて修得しなければならない。  
 2. 教科に関する科目の欄中，○○及び〇〇とあるものは両科目修得しなければならない。  
 3. 本学における開設授業科目の欄中，◎の付してあるものは，免許取得の際の必修科目を表す。  
 4. 「介護実習」は，「福祉」免許のみの取得を希望する者を対象とする。高齢者施設，障害者施設など介護業務を行う施設を実習先とすること。  
 5. 「ソーシャルワーク実習」は，社会福祉士国家試験受験資格取得を希望する者を対象とする。「福祉」免許を併せて取得する場合は，高齢者施設，障害者施設など介護業務を行う施設を実習先とすること。

生命環境学群 生物学類

免許教科	免許法に規定する科目			区 分	本学における開設授業科目 (開設学群・学類)	備 考	
	教科に関する科目	最低修得単位数					
		中学校	高等学校				
理	物理学	1 以上	1 以上	物理学	(生物学類開設) ◎物理学 S ◎物理学 F	} 2科目セットで必修	
	化学	1 以上	1 以上	化学	(生物学類開設) ◎化学 S ◎化学 F 有機化学 I, 有機化学 II		} 2科目セットで必修
	生物学	1 以上	1 以上	生物学	(生物学類開設) ◎系統分類・進化学概論 ◎分子細胞生物学概論 ◎遺伝学概論 ◎発生生物学概論 ◎生化学概論 ◎生態学概論 ◎動物生理学概論 ◎植物生理学概論 細胞生物学 I 細胞生物学 II 細胞生物学 III 動物生理学 I 動物生理学 II 生物物理学 I 生物物理学 II 動物系統分類学 I 植物生態学 I 進化遺伝学 I 分子進化学 I 植物バイオテクノロジー II	} 8科目セットで必修	
	地学	1 以上	1 以上	地学	(生命環境学群開設) ◎地球学概論 I ◎地球学概論 II ◎地球学概論 III		} 3科目セットで必修
	物理学実験 (コンピュータ活用を含む。)	1 以上	} 1 以上	物理学実験 (コンピュータ活用を含む。)	(生物学類開設) ◎物理学実験		
	化学実験 (コンピュータ活用を含む。)	1 以上		化学実験 (コンピュータ活用を含む。)	(生物学類開設) ◎化学実験		
	生物学実験 (コンピュータ活用を含む。)	1 以上		生物学実験 (コンピュータ活用を含む。)	(生物学類開設) ◎基礎生物学実験 S ◎基礎生物学実験 F 生物物理学実験		
地学実験 (コンピュータ活用を含む。)	1 以上	地学実験 (コンピュータ活用を含む。)		(生物学類開設) ◎地球学実験			
合 計 (中学一種, 高校一種)	2 0	2 0					

- (注) 1. 教科に関する科目の欄中, ( ) 内のものは必ず含めて修得しなければならない。  
 2. 本学における開設授業科目の欄中, ◎の付してあるものは, 免許取得の際の必修科目を表す。  
 ただし高校 1 種の場合は, 物理学実験, 化学実験, 生物学実験, 地学実験から選択した 1 以上の科目について, 指定されたものを修得すること。  
 3. 平成24年度以前入学者にあつては, 物理学 S・F, 化学 S・F, 基礎生物学実験 S・F に替えてそれぞれ物理学 I・II・III, 化学 I・II・III, 基礎生物学実験 I・II・III のセットを必修科目とすることができる。  
 4. 平成26年度以前入学者にあつては, 系統分類・進化学概論, 分子細胞生物学概論, 発生生物学概論に替えてそれぞれ分類学概論, 細胞学概論, 発生学概論を必修科目とすることができる。

生命環境学群 生物資源学類

免許教科	免許法に規定する科目		区 分	本学における開設授業科目 (開設学群・学類)	備 考
	教科に関する科目	最低修得単位数			
		中学校			
社	日本史及び外国史	1 以上	日本史	(日本語・日本文化学類開設) ◎日本の歴史概論 (生物資源学類開設) 農耕文化史論	
			外国史	(比較文化学類開設) ◎欧米研究概論 (日本語・日本文化学類開設) ◎東洋の歴史と文化	
	地理学(地誌を含む。)	1 以上	地理学	(比較文化学類開設) ◎文化地理学概論 ◎社会地理学A~C(3科目セット), ◎自然環境論, (生物資源学類開設) 水資源環境工学, 森林環境社会論	下線3つ からいずれ か選択 必修
			地誌	(地球学類開設) ◎地誌学 (比較文化学類開設) 地域研究論A~C	
「法律学, 政治学」	1 以上	「法律学, 政治学」	(社会学類開設) ◎法学概論 ◎民事法概論 (生物資源学類開設) ◎農林業政策論	1科目選 択必修	
「社会学, 経済学」	1 以上	「社会学, 経済学」	(生物資源学類開設) ◎経済学I・II(2科目セット), ◎社会科学基礎I・II(2科目セット), 生物資源経済学, 国際資源開発経済学, 農村社会学, 森林資源経済学, 森林管理学, 資源・開発経済学基礎演習, 森林管理・経済学基礎演習, 食料経済分析論, 資源開発経済学, アグリビジネス論, 国際技術交流論, 生物資源経済学演習, 国際資源開発経済学演習, 農村社会・農史学演習, 森林資源経済学演習, 森林管理学演習	下線2つ からいずれ かセット で選択 必修	
「哲学, 倫理学, 宗教学」	1 以上	「哲学, 倫理学, 宗教学」	(比較文化学類開設) ◎現代思想概論I・II から1科目, ◎比較宗教概論I・II から1科目, 文化創造論研究V, 表象芸術論研究I・II, 先端文化学研究III~VI, 記号文化論, 分析哲学, 言語哲学, 科学哲学, 現代倫理学, 哲学カフェ, 日本・東洋思想史研究I・II, 比較思想研究, 比較思想史研究, 比較宗教論I~VIII	下線及び 二重下線 から2科 目選択必 修	
合 計 (中学一種)		20			

- (注) 1. 教科に関する科目の欄中, ( ) 内のものは必ず含めて修得しなければならない。  
 2. 教科に関する科目の欄中, ○○及び○○とあるものは両科目修得しなければならない。  
 3. 教科に関する科目の欄中, 「 」内のものは1科目以上にわたり修得すればよい。  
 4. 本学における開設授業科目の欄中, ◎の付してあるものは, 免許取得の際の必修科目を表す。  
 5. 平成28年度以前に欧米研究概論を修得済みの者にあつては, ヨーロッパ史概説 a・b, オリエンタ史概説 a・b (人文学類開設) から1科目を選択し, 東洋の歴史と文化と併せて, 区分「外国史」の必修を満たすこと。  
 6. 平成28年度以前入学者にあつては, 地域研究論 A~C (3科目セット) を必修科目とすることができる。

生命環境学群 生物資源学類

免許教科	免許法に規定する科目		区 分	本学における開設授業科目 (開設学群・学類)	備 考			
	教科に関する科目	最低修得単位数						
		高等学校						
公          民	「法律学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」	1 以上	法律学	(社会学類開設) ◎法学概論 ◎民事法概論	1科目選択必修			
			国際法	(社会学類開設) 国際法Ⅰ，国際組織法				
			政治学（国際政治を含む。）」	(生物資源学類開設) ◎農林業政策論				
	「社会学，経済学（国際経済を含む。）」	1 以上	社会学	(生物資源学類開設) ◎社会科学基礎Ⅰ・Ⅱ(2科目)， 農村社会学， 農村社会・農史学演習	下線は2科目セットで必修			
			経済学	(生物資源学類開設) 生物資源経済学， 森林資源経済学， 資源・開発経済学基礎演習， 森林管理・経済学基礎演習， 食料経済分析論， 資源開発経済学， アグリビジネス論， 生物資源経済学演習， 森林資源経済学演習				
			経済学（国際経済を含む。）」	(生物資源学類開設) ◎経済学Ⅰ・Ⅱ(2科目)， 国際資源開発経済学， 森林管理学， 国際技術交流論， 国際資源開発経済学演習， 森林管理学演習		下線は2科目セットで必修		
	「哲学，倫理学，宗教学，心理学」	1 以上	「哲学，倫理学，宗教学」	(比較文化学類開設) ◎現代思想概論Ⅰ・Ⅱ から1科目， ◎比較宗教概論Ⅰ・Ⅱ から1科目， 文化創造論研究Ⅴ， 表象芸術論研究Ⅰ・Ⅱ， 先端文化学研究Ⅲ～Ⅵ，記号文化論， 分析哲学，言語哲学，科学哲学， 現代倫理学，哲学カフェ， 日本・東洋思想史研究Ⅰ・Ⅱ，比較思想研究， 比較思想史研究，比較宗教論Ⅰ～Ⅷ	下線及び二重下線から2科目選択必修			
				合 計 (高校一種)			20	

- (注) 1. 教科に関する科目の欄中，( ) 内のものは必ず含めて修得しなければならない。  
 2. 教科に関する科目の欄中，「 」内のものは1科目以上にわたり修得すればよい。  
 3. 本学における開設授業科目の欄中，◎の付してあるものは，免許取得の際の必修科目を表す。  
 4. 「法律学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」は、区分「法律学及び国際法」、区分「政治学（国際政治を含む。）」のいずれかを最低限修得すること。  
 5. 「社会学，経済学（国際経済を含む。）」は、区分「社会学」、区分「経済学（国際経済を含む。）」のいずれかを最低限修得すること。

生命環境学群 生物資源学類

免許教科	免許法に規定する科目			区 分	本学における開設授業科目 (開設学群・学類)	備 考	
	教科に関する科目	最低修得単位数					
		中学校	高等学校				
理      科	物理学	1 以上	1 以上	物理学	(生物資源学類開設) ◎物理学Ⅰ・Ⅱ(2科目セット), 流れの科学Ⅰ・Ⅱ, 土の物理学Ⅰ・Ⅱ, 熱・物質移動の科学Ⅰ・Ⅱ, 高分子科学, 材料力学	下線は2 科目セッ トで必修	
	化学	1 以上	1 以上	化学	(生物資源学類開設) ◎化学Ⅰ・Ⅱ(2科目セット), 生化学, 有機化学, 生物物理化学, 環境化学, 分析化学, 植物機能化学, 環境保全科学, 生物資源天然物化学, ゲノム情報生物学, 基礎生物化学工学, 分子発生制御学, 生体模倣化学, 複合材料工学	下線は2 科目セッ トで必修	
	生物学	1 以上	1 以上	生物学	(生物資源学類開設) ◎生物学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ(3科目セット), 資源植物保護学, 植物遺伝学, 資源動物学, 作物生産利用学, 園芸学, 生態学, 森林育成学, 森林植物学, 分子生物学	下線は3 科目セッ トで必修	
	地学	1 以上	1 以上	地学	(生物資源学類開設) ◎地球学概論Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ(3科目セット), 農村・農地工学, 土壌科学	下線は3 科目セッ トで必修	
	物理学実験(コン ピュータ活用を含む。)	1 以上	1 以上	物理学実験(コン ピュータ活用を含む。)	(生物資源学類開設) ◎物理学実験, バイオプロセスシミュレーション, 生物材料科学実験,		
	化学実験(コンピ ュータ活用を含む。)	1 以上		化学実験(コン ピュータ活用を含む。)	(生物資源学類開設) ◎化学実験, 分析化学基礎実験, バイオテクノロジー基礎実験, 応用生命化学コース専門実験		
	生物学実験(コン ピュータ活用を含む。)	1 以上		生物学実験(コン ピュータ活用を含む。)	(生物資源学類開設) ◎生物学実験, 農林生物学基礎実験, 農林生物学実験, 植物寄生菌学実験		
	地学実験(コンピ ュータ活用を含む。)	1 以上		地学実験(コン ピュータ活用を含む。)	(生物資源学類開設) ◎地球学実験		
	合 計 (中学一種, 高校一種)	2 0	2 0				

- (注) 1. 教科に関する科目の欄中, ( ) 内のものは必ず含めて修得しなければならない。  
2. 本学における開設授業科目の欄中, ◎の付してあるものは, 免許取得の際の必修科目を表す。



生命環境学群 生物資源学類

免許教科	免許法に規定する科目		区 分	本学における開設授業科目 (開設学群・学類)	備 考
	教科に関する科目	最低修得単位数			
技	木材加工（製図及び実習を含む。）	1 以上	木材加工	(生物資源学類開設) 生物材料学, ◎生物材料加工学	
			木材加工（製図及び実習を含む。）	(生物資源学類開設) ◎生物材料加工学実習	
	金属加工（製図及び実習を含む。）	1 以上	金属加工（製図及び実習を含む。）	(生物資源学類開設) ◎機械・食品工学実験	
			機械（実習を含む。）	(生物資源学類開設) 生物機械工学, 生物施設工学, ◎生物機械工学実習	
	電気（実習を含む。）	1 以上	電気（実習を含む。）	(生物資源学類開設) ◎環境工学基礎実験	
	術	栽培（実習を含む。）	1 以上	栽培	(生物資源学類開設) 環境有機農業論
栽培（実習を含む。）				(生物資源学類開設) 森林育成学実験, ◎生物資源生産科学実習, 有機農業実習	
情報とコンピュータ（実習を含む。）		1 以上	情報とコンピュータ	(生物資源学類開設) 生物化学工学Ⅰ・Ⅱ	
	情報とコンピュータ（実習を含む。）		(生物資源学類開設) ◎生物資源科学情報処理実習		
合 計 (中学一種)		20			

- (注) 1. 教科に関する科目の欄中, ( ) 内のものは必ず含めて修得しなければならない。  
2. 本学における開設授業科目の欄中, ◎の付してあるものは, 免許取得の際の必修科目を表す。



生命環境学群 地球学類

免許教科	免許法に規定する科目		区 分	本学における開設授業科目 (開設学群・学類)	備 考
	教科に関する科目	最低修得単位数			
社    会	日本史及び外国史	1 以上	日本史	(人文学類開設) ◎ <u>日本史概説 I a・I b・II a・II b・III a・III b</u> , 歴史地理学概説 a・b, 考古学概説 a・b, 民俗学概説 a・b	下線6科目から a・b と続く2科目を選択必修
			外国史	(人文学類開設) ◎ <u>東洋史概説 a・b</u> ◎ <u>ヨーロッパ史概説 a・b</u> ◎ <u>オリエント史概説 a・b</u> 先史学概説 a・b, 文化人類学概説 a・b	下線2科目から1科目選択必修及び二重下線4科目から1科目選択必修
	地理学 (地誌を含む。)	1 以上	地理学	(地球学類開設) ◎ <u>人文地理学, 都市地理学, 交通地理学, 農村地理学, 地理情報システム A, 地理情報システム B, 水文学, 地形学, 堆積プロセス学, 斜面プロセス学, 氷河凍土学, 地生態学, 地球環境学 A・B, 水文学特論, 地形学特論, 大気科学特論, 地域計画論, 海洋学</u>	
			地誌	(地球学類開設) ◎ <u>地誌学, 経済地域論, 観光地域論, 社会地域論, 世界地誌 I・II・III・IV</u>	
	「法律学, 政治学」	1 以上	「法律学, 政治学」	(社会学類開設) ◎ <u>法学概論, ◎民事法概論, 民法総則, 契約, 事務管理・不当利得・不法行為, 債権総論, 物権, 担保物権, 親族・相続, 刑法 I・II, 憲法 I・II・III, 商法 I, 会社法 I・II, 行政法, 国際法 I・II, 国際組織法, ◎政治学, 国際紛争論 I・II, 比較政治学, 国際政治学</u>	下線は3科目から1科目選択必修
	「社会学, 経済学」	1 以上	「社会学, 経済学」	(社会学類開設) ◎ <u>社会学基礎論, ◎現代社会論,</u>	下線は2科目から1科目選択必修
「哲学, 倫理学, 宗教学」	1 以上	「哲学, 倫理学, 宗教学」	(人文学類開設) ◎ <u>哲学通論 a・b, ◎倫理学通論 a・b, ◎宗教学通論 a・b, 日本思想 a・b, 東洋思想 a・b</u>	下線は6科目から1科目選択必修	
合計 (中学一種)	20				

- (注) 1. 教科に関する科目の欄中, ( ) 内のものは必ず含めて修得しなければならない。  
 2. 教科に関する科目の欄中, ○○及び○○とあるものは両科目修得しなければならない。  
 3. 教科に関する科目の欄中, 「 」内のものは1科目以上にわたり修得すればよい。  
 4. 本学における開設授業科目の欄中, ◎の付してあるものは, 免許取得の際の必修科目を表す。

生命環境学群 地球学類

免許教科	免許法に規定する科目		区 分	本学における開設授業科目 (開設学群・学類)	備 考
	教科に関する科目	最低修得単位数 高等学校			
地 理 歴 史	日本史	1 以上	日本史	(人文学類開設) ◎日本史概説 I a・Ib・II a・II b・III a・III b, 歴史地理学概説 a・b, 考古学概説 a・b, 民俗学概説 a・b	下線6科目から a・b と続く2科目を選択必修
	外国史	1 以上	外国史	(人文学類開設) ◎東洋史概説 a・b ◎ヨーロッパ史概説 a・b, ◎オリエント史概説 a・b, 先史学概説 a・b, 文化人類学概説 a・b	下線2科目から1科目選択必修及び二重下線4科目から1科目選択必修
	人文地理学及び自然地理学	1 以上	人文地理学	(地球学類開設) ◎人文地理学 都市地理学 交通地理学 農村地理学 地理情報システム A・B 地域計画論 地球環境学 B	
			自然地理学	(地球学類開設) ◎地球環境学 A 地形学 堆積プロセス学 斜面プロセス学 氷河凍土学 地生態学 海洋学 水文科学特論 地形学特論 大気科学特論 水文科学	
	地誌	1 以上	地誌	(地球学類開設) ◎地誌学 経済地域論 観光地域論 社会地域論 世界地誌 I・II・III・IV	
	合 計 (高校一種)	2 0			

- (注) 1. 教科に関する科目の欄中, ○○及び○○とあるものは両科目修得しなければならない。  
2. 本学における開設授業科目の欄中, ◎の付してあるものは, 免許取得の際の必修科目を表す。

生命環境学群 地球学類

免許 教科	免許法に規定する科目			区 分	本学における開設授業科目 (開設学群・学類)	備考
	教科に関する科目	最低修得単位数				
		中学校	高等学校			
理	物理学	1以上	1以上	物理学	(地球学類開設) ◎地球基礎数学 (物理学類開設) 力学1・2 電磁気学1・2 基礎力学1・2 基礎電磁気学1・2	
	化学	1以上	1以上	化学	(地球学類開設) ◎地球基礎物理・化学 (化学類開設) 基礎化学, 基礎有機化学, 化学結合論	
	生物学	1以上	1以上	生物学	(生命環境学群開設) ◎生物学Ⅰ, ◎生物学Ⅱ, ◎生物学Ⅲ (地球学類開設) 生物学Ⅰ・Ⅱ (物理学類開設) 生物物理学Ⅰ, 動物生理学Ⅰ	下線は3 科目セッ トで必修
	地学	1以上	1以上	地学	(地球学類開設) ◎地球進化学A, ◎地球進化学B, 生物圏地球科学, 地球変動・資源科学, 地球物質科学, 古生物学, 地史学, 地層学, 地球変動科学, 岩石学, 地球 資源科学, 鉱物学, 同位体地球化学, 火山学, 大気科学, 大気力学, 気象学, 気候システム学, 地圏水文学, 気圏水文学, 流域水文学, 水環境リモートセンシング, 第四紀環境変動論, 地球学野外調査法	下線は2 科目から 1科目選 択必修
	物理学実験(コン ピュータ活用を含む。)	1以上	1以上	物理学実験(コン ピュータ活用 を含む。)	(物理学類開設) ◎物理学実験1	
化学実験(コンピ ュータ活用を含む。)	1以上	化学実験(コン ピュータ活用 を含む。)		(化学類開設) ◎化学実験		
生物学実験(コン ピュータ活用を含む。)	1以上	生物学実験(コ ンピュータ活 用を含む。)		(地球学類開設) ◎生物学実験 (物理学類開設) 生物物理学実験		
地学実験(コンピ ュータ活用を含む。)	1以上	地学実験(コン ピュータ活用 を含む。)		(地球学類開設) ◎地球学実験 地球学野外実験, 地質学基礎野外実験Ⅰ・Ⅱ 地質学野外実験Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ 生物圏地球科学実験 地球物質科学実験 地球変動・資源科学実験 国際地質学総合野外実験A・B 大気科学実験A・B, 大気科学野外実験A・B 水文科学実験A・B 水文科学野外実験A・B 地形学野外実験A・B 地形プロセス実験A・B		
合 計 (中学一種, 高校一種)	20	20				

(注) 1. 教科に関する科目の欄中, ( ) 内のものは必ず含めて修得しなければならない。

2. 本学における開設授業科目の欄中, ◎の付してあるものは, 免許取得の際の必修科目を表す。

理工学群 数学類

免許 教科	免許法に規定する科目			区 分	本学における開設授業科目 (開設学群・学類)	備 考
	教科に関する科目	最低修得単位数				
		中学校	高等学校			
数    学	代数学	1以上	1以上	代数学	(数学類開設) ◎線形代数Ⅰ，線形代数Ⅱ 代数入門 線形代数続論 代数学ⅠA・ⅠB 代数学Ⅱ・Ⅲ	
	幾何学	1以上	1以上	幾何学	(数学類開設) ◎トポロジー入門 トポロジーA・B・C， 多様体入門 微分幾何学	
	解析学	1以上	1以上	解析学	(数学類開設) ◎微積分Ⅰ，数学基礎， 微積分Ⅱ ベクトル解析と幾何 微分方程式入門 関数論，偏微分方程式 ルベーグ積分 関数解析入門 複素解析，関数解析	
	「確率論，統計学」	1以上	1以上	「確率論，統計学」	(数学類開設) ◎数理統計学Ⅰ 数理統計学Ⅱ，確率論Ⅰ・Ⅱ	
	コンピュータ	1以上	1以上	コンピュータ	(数学類開設) ◎計算機数学Ⅰ 数理論理学Ⅰ	
合 計 (中学一種，高校一種)		20	20			

- (注) 1. 教科に関する科目の欄中，「」内のものは1科目以上にわたり修得すればよい。  
2. 本学における開設授業科目の欄中，◎の付してあるものは，免許取得の際の必修科目を表す。

理工学群 数学類

免許教科	免許法に規定する科目		区 分	本学における開設授業科目 (開設学群・学類)	備 考
	教科に関する科目	最低修得単位数			
		高等学校			
情 報	情報社会及び情報倫理	1 以上	情報社会及び情報倫理	(理工学群開設) ◎知的財産と技術移転, 科学技術倫理 (工学システム学類開設) 工学システム原論 I・II	
	コンピュータ及び情報処理 (実習を含む。)	1 以上	コンピュータ及び情報処理	(数学類開設) 計算機数学 II	
			コンピュータ及び情報処理 (実習を含む。)	(数学類開設) ◎計算機演習	
	情報システム (実習を含む。)	1 以上	情報システム	(数学類開設) 数理論理学 II	
			情報システム (実習を含む。)	(情報科学類開設) ◎データベース概論 I	
	情報通信ネットワーク (実習を含む。)	1 以上	情報通信ネットワーク	(数学類開設) 統計学, 曲面論	
			情報通信ネットワーク (実習を含む。)	(数学類開設) ◎曲面論演習, 統計学演習, 線形代数 I 演習 線形代数 II 演習	
	マルチメディア表現及び技術 (実習を含む。)	1 以上	マルチメディア表現及び技術	(数学類開設) 集合入門	
			マルチメディア表現及び技術 (実習を含む。)	(数学類開設) ◎集合入門演習	
	情報と職業	1 以上	情報と職業	(教職科目その他開設) ◎情報と職業 (社会工学類開設) 経営工学概論 (国際総合学類開設) 産業・組織心理学	
合 計 (高校一種)	20				

- (注) 1. 教科に関する科目の欄中, ( ) 内のものは必ず含めて修得しなければならない。  
2. 教科に関する科目の欄中, ○○及び○○とあるものは両科目修得しなければならない。

理工学群 物理学類

免許 教科	免許法に規定する科目			区 分	本学における開設授業科目 (開設学群・学類)	備 考
	教科に関する科目	最低修得単位数				
		中学校	高等学校			
数	代数学	1以上	1以上	代数学	(物理学類開設) ◎物理数学1 ◎計算物理学3 (数学類開設) ◎線形代数Ⅰ・Ⅱ 代数入門 線形代数続論	下線は4科目から1科目選択必修
	幾何学	1以上	1以上	幾何学	(数学類開設) ◎トポロジー入門 トポロジーA・B・C、 多様体入門 微分幾何学 (物理学類開設) ◎一般相対性理論	下線は2科目から1科目選択必修
学	解析学	1以上	1以上	解析学	(数学類開設) 微積分Ⅰ・Ⅱ (物理学類開設) ◎物理数学2	
	「確率論, 統計学」	1以上	1以上	「確率論, 統計学」	(物理学類開設) ◎統計力学1 ◎統計力学2	1科目選択必修
	コンピュータ	1以上	1以上	コンピュータ	(物理学類開設) ◎計算物理学1 ◎計算物理学2	1科目選択必修
合 計 (中学一種, 高校一種)		20	20			

- (注) 1. 教科に関する科目の欄中, 「」内のものは1科目以上にわたり修得すればよい。  
2. 本学における開設授業科目の欄中, ◎の付してあるものは, 免許取得の際の必修科目を表す。



理工学群 物理学類

免許教科	免許法に規定する科目		区 分	本学における開設授業科目 (開設学群・学類)	備 考	
	教科に関する科目	最低修得単位数				
		中学校				高等学校
理	物理学	1 以上	1 以上	物理学	(物理学類開設) ◎力学1, ◎力学2 ◎電磁気学1, ◎電磁気学2 力学3 連続体物理学 電磁気学3・4・5 量子力学1・2・3・4 熱物理学 特殊相対性理論 プラズマ物理学概論, プラズマ物理学 素粒子物理学概論 原子核物理学概論 物性物理学概論 物理実験学1・2 宇宙物理学概論 素粒子物理学 原子核物理学 物性物理学 宇宙物理学	下線2科目から1科目選択必修及び二重下線2科目から1科目選択必修
	化学	1 以上	1 以上	化学	(化学類開設) ◎化学結合論 基礎化学 基礎有機化学	
	生物学	1 以上	1 以上	生物学	(物理学類開設) ◎生物学 I・II ◎生物物理学 I ◎生物物理科学 動物生理学 I 分子進化学 I	二重下線は2科目セットで必修又は下線2科目から1科目選択必修
	地学	1 以上	1 以上	地学	(地球学類開設) ◎地球進化学 A ◎地球進化学 B	1 科目選択必修
	物理学実験 (コンピュータ活用を含む。)	1 以上	1 以上	物理学実験 (コンピュータ活用を含む。)	(物理学類開設) ◎物理学実験1 物理学実験2 物理学実験3	
化学実験 (コンピュータ活用を含む。)	1 以上	化学実験 (コンピュータ活用を含む。)		(化学類開設) ◎化学実験		
生物学実験 (コンピュータ活用を含む。)	1 以上	生物学実験 (コンピュータ活用を含む。)		(物理学類開設) ◎生物学実験 生物物理学実験		
地学実験 (コンピュータ活用を含む。)	1 以上	地学実験 (コンピュータ活用を含む。)		(地球学類開設) ◎地球学実験		
合 計 (中学一種, 高校一種)	2 0	2 0				

- (注) 1. 教科に関する科目の欄中, ( ) 内のものは必ず含めて修得しなければならない。  
2. 本学における開設授業科目の欄中, ◎の付してあるものは, 免許取得の際の必修科目を表す。

理工学群 化学類

免許教科	免許法に規定する科目			区 分	本学における開設授業科目 (開設学群・学類)	備 考
	教科に関する科目	最低修得単位数				
		中学校	高等学校			
理          科	物理学	1以上	1以上	物理学	(物理学類開設) ◎力学1, 力学2 ◎基礎力学1, 基礎力学2 ◎電磁気学1, 電磁気学2 ◎基礎電磁気学1, 基礎電磁気学2	下線2科目から1科目選択必修及び二重下線2科目から1科目選択必修
	化学	1以上	1以上	化学	(化学類開設) ◎基礎有機化学 ◎基礎無機化学 ◎化学結合論 基礎化学 無機化学 I・II・III 分析化学, 物理化学 I・II・III 量子化学 有機化学 I・II・III・IV 生物化学 基礎化学外書講読 放射化学, 超分子化学 計算化学, 合成有機化学 構造物理化学, 固体物性化学 構造有機化学, 錯体物性化学 環境放射化学 専門化学外書講読	
	生物学	1以上	1以上	生物学	(化学類開設) ◎生物学 I・II	2科目セットで必修
	地学	1以上	1以上	地学	(地球学類開設) ◎地球進化学 A ◎地球進化学 B	1科目選択必修
	物理学実験 (コンピュータ活用を含む。)	1以上	1以上	物理学実験 (コンピュータ活用を含む。)	(物理学類開設) ◎物理学実験1	
	化学実験 (コンピュータ活用を含む。)	1以上		化学実験 (コンピュータ活用を含む。)	(化学類開設) ◎化学実験 基礎化学実験	
	生物学実験 (コンピュータ活用を含む。)	1以上		生物学実験 (コンピュータ活用を含む。)	(化学類開設) ◎生物学実験	
	地学実験 (コンピュータ活用を含む。)	1以上		地学実験 (コンピュータ活用を含む。)	(地球学類開設) ◎地球学実験	
	合 計 (中学一種, 高校一種)	20	20			

- (注) 1. 教科に関する科目の欄中, ( ) 内のものは必ず含めて修得しなければならない。  
2. 本学における開設授業科目の欄中, ◎の付してあるものは, 免許取得の際の必修科目を表す。

理工学群 応用理工学類

免許教科	免許法に規定する科目			区 分	本学における開設授業科目 (開設学群・学類)	備 考
	教科に関する科目	最低修得単位数				
		中学校	高等学校			
数    学	代数学	1 以上	1 以上	代数学	(応用理工学類開設) ◎線形代数ⅠA・ⅠB・Ⅱ, ◎線形代数Ⅰ※ 応用数学Ⅰ・Ⅱ	下線は3 科目から 1科目選 択必修
	幾何学	1 以上	1 以上	幾何学	(応用理工学類開設) ◎解析学ⅠB ◎ベクトル解析※ 解析学ⅡA・ⅡB 複素関数※	◎から 1科目 選択必 修
	解析学	1 以上	1 以上	解析学	(応用理工学類開設) ◎解析学ⅠA, ◎微分・積分Ⅰ※ ◎微分・積分Ⅱ※ 力学B, 解析力学 振動・波動※	◎から 1科目 選択必 修
	「確率論, 統計学」	1 以上	1 以上	「確率論, 統計学」	(応用理工学類開設) ◎確率・統計学, 統計力学Ⅰ・Ⅱ	
	コンピュータ	1 以上	1 以上	コンピュータ	(応用理工学類開設) ◎応用理工学情報処理, 計算機実習, デジタル電子回路, 集積回路工学, 電気回路, アナログ電子回路 (工学システム学類開設) プログラミング序論C, データ構造とアルゴリズム	
合 計 (中学一種, 高校一種)		2 0	2 0			

- (注) 1. 教科に関する科目の欄中, 「」内のものは1科目以上にわたり修得すればよい。  
 2. 本学における開設授業科目の欄中, ◎の付してあるものは, 免許取得の際の必修科目を表す。  
 3. 教科に関する科目の欄中, ※の付してあるものは, 平成24年度以前入学者に限り, 教科に関する科目として使用することができる。

理工学群 応用理工学類

免許教科	免許法に規定する科目			区 分	本学における開設授業科目 (開設学群・学類)	備 考
	教科に関する科目	最低修得単位数				
		中学校	高等学校			
理	物理学	1 以上	1 以上	物理学	(応用理工学類開設) ◎力学A, ◎力学Ⅰ※, ◎力学Ⅱ※ 電磁気学A・B, 電磁気学Ⅰ※, 電磁気学Ⅱ※, 電磁気学Ⅲ※, 量子力学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ, 熱力学, 固体物理学 A・B, 原子分子論, 物理計測, 光学, レーザー光学, 超伝導・電子物性, プラズマ工学, 回折結晶学, 光物性工学	◎から 1科目 選択必 修
	化学	1 以上	1 以上	化学	(応用理工学類開設) ◎ <u>化学ⅠA・ⅠB・ⅡA・ⅡB・ⅢA・ ⅢB</u> , 有機化学A・B, 高分子化学, 電気化学, 有機電子論	下線は6 科目から 1科目選 択必修
	生物学	1 以上	1 以上	生物学	(理工学群その他開設) ◎生物学 A・B (応用理工学類開設) 生物工学概論, 生命科学A・B	
	地学	1 以上	1 以上	地学	(地球学類開設) ◎ <u>地球進化学A・B</u> , 地球物質科学, 地層学	下線は2 科目から 1科目選 択必修
	物理学実験(コン ピュータ活用を含む。)	1 以上	1 以上	物理学実験(コン ピュータ活用を含む。)	(応用理工学類開設) ◎物理学実験	
化学実験(コンピ ュータ活用を含む。)	1 以上	化学実験(コン ピュータ活用を含む。)		(応用理工学類開設) ◎化学実験		
生物学実験(コン ピュータ活用を含む。)	1 以上	生物学実験(コン ピュータ活用を含む。)		(理工学群その他開設) ◎生物学実験		
地学実験(コンピ ュータ活用を含む。)	1 以上	地学実験(コン ピュータ活用を含む。)		(地球学類開設) ◎地球学実験, 地質学基礎野外実験Ⅰ・Ⅱ		
合 計 (中学一種, 高校一種)	2 0	2 0				

- (注) 1. 教科に関する科目の欄中, ( ) 内のものは必ず含めて修得しなければならない。  
 2. 本学における開設授業科目の欄中, ◎の付してあるものは, 免許取得の際の必修科目を表す。  
 3. 平成24年度以前入学者にあっては, 生物学A・Bに替えて生物学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲのセットを必修科目とすることができる。  
 4. 教科に関する科目の欄中, ※の付してあるものは, 平成24年度以前入学者に限り, 教科に関する科目として使用することができる。



理工学群 工学システム学類

免許教科	免許法に規定する科目		区 分	本学における開設授業科目 (開設学群・学類)	備 考	
	教科に関する科目	最低修得単位数				
		中学校				高等学校
数    学	代数学	1以上	1以上	代数学	(工学システム学類開設) ◎線形代数Ⅰ・Ⅱ ◎線形代数A, 応用数学	下線は2科目から1科目選択必修 注3
	幾何学	1以上	1以上	幾何学	(工学システム学類開設) ◎線形代数Ⅲ ◎線形代数B	注4
	解析学	1以上	1以上	解析学	(工学システム学類開設) ◎解析学Ⅰ～Ⅲ, 複素解析, 複素関数Ⅰ・Ⅱ, 応用からの微分方程式	下線は3科目から1科目選択必修
	「確率論, 統計学」	1以上	1以上	「確率論, 統計学」	(工学システム学類開設) ◎確率統計, 信頼性工学	
	コンピュータ	1以上	1以上	コンピュータ	(工学システム学類開設) ◎プログラミング序論, ◎プログラミング序論Ⅱ, ◎プログラミング序論C, データ構造とアルゴリズム, ヒューマンインタフェース, 知的情報処理, デジタル信号処理, 応用プログラミング, 計算機序論	注5
合 計 (中学一種, 高校一種)		20	20			

- (注) 1. 教科に関する科目の欄中, 「」内のものは1科目以上にわたり修得すればよい。  
 2. 本学における開設授業科目の欄中, ◎の付してあるものは, 免許取得の際の必修科目を表す。  
 3. 代数学は, 平成24年度以前入学者は線形代数Ⅰ・Ⅱのうち1科目が選択必修, 平成25年度以降入学者は線形代数Aが必修である。  
 4. 幾何学は, 平成24年度以前入学者は線形代数Ⅲ, 平成25年度以降入学者は線形代数Bがそれぞれ必修である。  
 5. コンピュータは, 平成24年度以前入学者はプログラミング序論, 平成25～26年度入学者はプログラミング序論Ⅱ, 平成27年度以降入学者はプログラミング序論Cがそれぞれ必修である。

理工学群 工学システム学類

免許教科	免許法に規定する科目			区 分	本学における開設授業科目 (開設学群・学類)	備 考
	教科に関する科目	最低修得単位数				
		中学校	高等学校			
理	物理学	1以上	1以上	物理学	(工学システム学類開設) ◎力学Ⅰ・Ⅱ, 電磁気学Ⅰ・Ⅱ, 電気回路, 熱力学Ⅰ・Ⅱ, 材料力学Ⅰ・Ⅱ, 流体力学,	下線は2科目から1科目選択必修
	化学	1以上	1以上	化学	(応用理工学類開設) ◎化学ⅠA・ⅠB・ⅡA・ⅡB (工学システム学類開設) 燃料電池工学, 燃焼工学, 物理化学概論	下線は4科目から1科目選択必修
	生物学	1以上	1以上	生物学	(理工学群その他開設) ◎生物学A・B	
	地学	1以上	1以上	地学	(地球学類開設) ◎地球進化学A・B, 地層学	下線は2科目から1科目選択必修
	物理学実験(コンピュータ活用を含む。)	1以上	1以上	物理学実験(コンピュータ活用を含む。)	(工学システム学類開設) ◎物理学実験 知的工学システム基礎実験Ⅰ～Ⅲ, 機能工学システム基礎実験Ⅰ～Ⅲ, 環境開発工学基礎実験Ⅰ～Ⅲ, エネルギー工学基礎実験Ⅰ～Ⅲ, 知的工学システム基礎実験A・B, 機能工学システム基礎実験A・B, 環境開発工学基礎実験A・B, エネルギー工学基礎実験A・B	注3
化学実験(コンピュータ活用を含む。)	1以上	化学実験(コンピュータ活用を含む。)		(応用理工学類開設) ◎化学実験		
生物学実験(コンピュータ活用を含む。)	1以上	生物学実験(コンピュータ活用を含む。)		(理工学群その他開設) ◎生物学実験		
地学実験(コンピュータ活用を含む。)	1以上	地学実験(コンピュータ活用を含む。)		(地球学類開設) ◎地球学実験, 地質学基礎野外実験Ⅰ・Ⅱ		
合 計 (中学一種, 高校一種)	20	20				

- (注) 1. 教科に関する科目の欄中, ( ) 内のものは必ず含めて修得しなければならない。  
 2. 本学における開設授業科目の欄中, ◎の付してあるものは, 免許取得の際の必修科目を表す。  
 3. 物理学実験(コンピュータ活用を含む。)は, 平成24年度以前入学者は基礎実験Ⅰ～Ⅲを, 平成25年度以降入学者は基礎実験A・Bを履修すること。

理工学群 工学システム学類

免許教科	免許法に規定する科目		区 分	本学における開設授業科目 (開設学群・学類)	備 考
	教科に関する科目	最低修得単位数 高等学校			
情	情報社会及び情報倫理	1 以上	情報社会及び情報倫理	(理工学群開設) 知的財産と技術移転, 科学技術倫理 (工学システム学類開設) 工学者のための倫理, ◎ <u>工学システム原論 I・II</u> , 研究・開発原論	下線は2科目から1科目選択必修
	コンピュータ及び情報処理 (実習を含む。)	1 以上	コンピュータ及び情報処理	(工学システム学類開設) 計測工学, ◎ <u>コンピュータアーキテクチャ</u> , 電子回路, 論理回路, 離散数学, 人工知能, 環境リモートセンシング, システム制御工学 B, ◎ <u>システム制御工学</u>	下線は2科目から1科目選択必修
			コンピュータ及び情報処理 (実習を含む。)	(工学システム学類開設) 計算機序論 I・II プログラミング序論 I・III プログラミング序論 A・B・D	注 4
	情報システム (実習を含む。)	1 以上	情報システム	(工学システム学類開設) ◎情報理論, システム工学	
			情報システム (実習を含む。)	(情報科学類開設) データベース概論 I	
	情報通信ネットワーク (実習を含む。)	1 以上	情報通信ネットワーク	(工学システム学類開設) 安全工学 システム信頼性工学 ◎ <u>情報通信システム論 I・II</u>	下線は2科目から1科目選択必修
			情報通信ネットワーク (実習を含む。)	(工学システム学類開設) 数値解析, 数値計算法	
			マルチメディア表現及び技術 (実習を含む。)	1 以上	マルチメディア表現及び技術
	マルチメディア表現及び技術 (実習を含む。)	1 以上	マルチメディア表現及び技術 (実習を含む。)	(工学システム学類開設) 知的工学システム専門実験 知的工学システム応用実験 機能工学システム専門実験 機能工学システム応用実験	
			情報と職業	1 以上	情報と職業
合 計 (高校一種)		20			

- (注) 1. 教科に関する科目の欄中, ( ) 内のものは必ず含めて修得しなければならない。  
 2. 教科に関する科目の欄中, ○○及び○○とあるものは両科目修得しなければならない。  
 3. 本学における開設授業科目の欄中, ◎の付してあるものは, 免許取得の際の必修科目を表す。  
 4. コンピュータ及び情報処理 (実習を含む。) は, 平成24年度以前入学者は計算機序論 I・II を, 平成25年～26年度入学者はプログラミング序論 I・III を, 平成27年度以降入学者はプログラミング序論 A・B・D を履修すること。





理工学群 社会工学類

免許教科	免許法に規定する科目		区 分	本学における開設授業科目 (開設学群・学類)	備 考
	教科に関する科目	最低修得単位数			
社	日本史及び外国史	1 以上	日本史	(日本語・日本文化学類開設) ◎日本の歴史概論	
			外国史	(比較文化学類開設) ◎欧米研究概論 (日本語・日本文化学類開設) ◎東洋の歴史と文化 (国際総合学類開設) 国際関係史序説 (社会工学類開設) 都市計画の歴史	
	地理学(地誌を含む。)	1 以上	地理学(地誌を含む。)	(社会工学類開設) ◎都市緑地計画	
	「法律学, 政治学」	1 以上	「法律学, 政治学」	(社会学類開設) ◎法学概論 (国際総合学類開設) 比較政治学, 国際政治学, 国際機構論, 国際相互依存論, 国際政治経済学 I, 国際法概論, 国際法 I, 国際組織法, 日本政治, 現代日本外交史	
会	「社会学, 経済学」	1 以上	「社会学, 経済学」	(社会工学類開設) ◎ <u>ミクロ経済学</u> , ◎ <u>マクロ経済学</u> , 国際・公共システム演習, 計量分析システム演習, 戦略行動システム演習, 計量経済学, 金融論, 財政学, 日本経済論, 公共経済学, 経済動学, 国際金融論, 国際開発論, マクロ計量分析, 金融リスク管理論, ゲーム論, 進化ゲーム論, 意思決定論, 経済行動論, 計量時系列分析, 都市経済学, 都市・地域・国土の政策評価, 都市と地域の経営・行政論	下線は2科目から1科目選択必修
	「哲学, 倫理学, 宗教学」	1 以上	「哲学, 倫理学, 宗教学」	(全学群対象) ◎哲学通論A I・A II、又はC I・C II、 又はD I・D II 〔哲学通論A I, C I, D Iは同一科目 哲学通論A II, C II, D IIは同一科目〕	
合 計 (中学一種)		2 0			

- (注) 1. 教科に関する科目の欄中, ( ) 内のものは必ず含めて修得しなければならない。  
 2. 教科に関する科目の欄中, ○○及び○○とあるものは両科目修得しなければならない。  
 3. 教科に関する科目の欄中, 「 」内のものは1科目以上にわたり修得すればよい。  
 4. 本学における開設授業科目の欄中, ◎の付してあるものは, 免許取得の際の必修科目を表す。

理工学群 社会工学類

免許教科	免許法に規定する科目		区 分	本学における開設授業科目 (開設学群・学類)	備 考
	教科に関する科目	最低修得単位数 高等学校			
公	「法律学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」	1 以上	法律学	(社会学類開設) ◎法学概論	
			国際法	(国際総合学類開設) ◎国際法概論, 国際法 I ◎国際組織法	下線は2科目から1科目選択必修
			政治学	(国際総合学類開設) 比較政治学, 日本政治, 現代日本外交史	1科目選択必修
			国際政治	(国際総合学類開設) 国際政治学, 国際機構論, 国際相互依存論, 国際政治経済学 I	
民	「社会学, 経済学（国際経済を含む。）」	1 以上	社会学	(社会工学類開設) 文化行動論	
			経済学	(社会工学類開設) ◎ミクロ経済学, ◎マクロ経済学, 国際・公共システム演習, 計量分析システム演習, 戦略行動システム演習, 計量経済学, 金融論, 財政学, 日本経済論, 公共経済学, 経済動学, マクロ計量分析, 金融リスク管理論, ゲーム論, 進化ゲーム論, 意思決定論, 経済行動論, 計量時系列分析, 都市と地域の経営・行政論, 都市経済学, 都市・地域・国土の政策評価	下線は2科目から1科目選択必修
			国際経済	(社会工学類開設) 国際金融論, 国際開発論	1科目選択必修
	「哲学, 倫理学, 宗教学, 心理学」	1 以上	「哲学, 倫理学, 宗教学」	(全学群対象) ◎哲学通論A I・A II、又はC I・C II、 又はD I・D II 〔哲学通論A I, C I, D Iは同一科目 哲学通論A II, C II, D IIは同一科目〕	
合 計 (高校一種)		2 0			

- (注) 1. 教科に関する科目の欄中, ( ) 内のものは必ず含めて修得しなければならない。  
 2. 教科に関する科目の欄中, 「 」内のものは1科目以上にわたり修得すればよい。  
 3. 本学における開設授業科目の欄中, ◎の付してあるものは, 免許取得の際の必修科目を表す。  
 4. 「法律学 (国際法を含む。), 政治学 (国際政治を含む。)」は、区分「法律学及び国際法」、区分「政治学及び国際政治」のいずれかを最低限修得すること。  
 5. 「社会学, 経済学 (国際経済含む。)」は、区分「経済学及び国際経済」を最低限修得すること。

理工学群 社会工学類

免許 教科	免許法に規定する科目		区 分	本学における開設授業科目 (開設学群・学類)	備 考	
	教科に関する科目	最低修得単位数				
		中学校				高等学校
数    学	代数学	1以上	1以上	代数学	(社会工学類開設) ◎線形代数Ⅰ・Ⅱ, 数理最適化法, 数理工学モデル化実習	下線は2 科目から 1科目選 択必修
	幾何学	1以上	1以上	幾何学	(情報科学類開設) ◎コンピュータグラフィックス基礎	
	解析学	1以上	1以上	解析学	(社会工学類開設) ◎微積分Ⅰ・Ⅱ, 数理解析, 都市解析	下線は2 科目から 1科目選 択必修
	「確率論, 統計学」	1以上	1以上	「確率論, 統計学」	(社会工学類開設) ◎統計Ⅰ・Ⅱ, 数理統計学, 応用確率論, 生産・品質管理	下線は2 科目から 1科目選 択必修
	コンピュータ	1以上	1以上	コンピュータ	(社会工学類開設) 社会経済システム情報演習, ◎データ解析, ◎ファイナンス,	下線は2 科目から 1科目選 択必修
合 計 (中学一種, 高校一種)		20	20			

- (注) 1. 教科に関する科目の欄中, 「」内のものは1科目以上にわたり修得すればよい。  
2. 本学における開設授業科目の欄中, ◎の付してあるものは, 免許取得の際の必修科目を表す。

理工学群 社会工学類

免許教科	免許法に規定する科目		区 分	本学における開設授業科目 (開設学群・学類)	備 考
	教科に関する科目	最低修得単位数			
		高等学校			
情          報	情報社会及び情報倫理	1以上	情報社会及び情報倫理	(理工学群開設) 知的財産と技術移転 ◎科学技術倫理	
	コンピュータ及び情報処理(実習を含む。)	1以上	コンピュータ及び情報処理	(情報科学類開設) 計算機アーキテクチャ	
			コンピュータ及び情報処理(実習を含む。)	(社会工学類開設) ◎計算機科学 都市環境評価論, 地域科学演習, プログラミング実習	
	情報システム(実習を含む。)	1以上	情報システム	(社会工学類開設) マーケティング工学	
			情報システム(実習を含む。)	(社会工学類開設) ◎経営情報システム, 社会調査実習 (情報科学類開設) データベース概論 I	
	情報通信ネットワーク(実習を含む。)	1以上	情報通信ネットワーク	(社会工学類開設) ◎応用確率過程	
			情報通信ネットワーク(実習を含む。)	(社会工学類開設) ◎情報ネットワーク, 情報技術実験	
	マルチメディア表現及び技術(実習を含む。)	1以上	マルチメディア表現及び技術	(社会工学類開設) ◎都市空間の計画とデザイン	
			マルチメディア表現及び技術(実習を含む。)	(社会工学類開設) シミュレーション, 都市計画情報実習	
	情報と職業	1以上	情報と職業	(教職科目その他開設) ◎情報と職業 (国際総合学類開設) 産業・組織心理学 (社会工学類開設) マネジメント実習, 経営工学概論	
合 計 (高校一種)	20				

- (注) 1. 教科に関する科目の欄中, ( ) 内のものは必ず含めて修得しなければならない。  
 2. 教科に関する科目の欄中, ○○及び○○とあるものは両科目修得しなければならない。  
 3. 本学における開設授業科目の欄中, ◎の付してあるものは, 免許取得の際の必修科目を表す。

情報学群 情報科学類

免許 教科	免許法に規定する科目		区 分	本学における開設授業科目 (開設学群・学類)	備 考	
	教科に関する科目	最低修得単位数				
		中学校				高等学校
数    学	代数学	1以上	1以上	代数学	(情報科学類開設) ◎ <u>線形代数Ⅰ・Ⅱ</u> , コンピュータ数学, 離散構造	下線は2 科目から 1科目選 択必修
	幾何学	1以上	1以上	幾何学	(情報科学類開設) ◎コンピュータグラフィックス基礎, インタラクティブCG, 画像認識工学	
	解析学	1以上	1以上	解析学	(情報科学類開設) ◎ <u>解析学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ</u> , 数値計算法, 数理メディア情報学, 複素関数論	下線は3 科目から 1科目選 択必修
	「確率論, 統計学」	1以上	1以上	「確率論, 統計学」	(情報科学類開設) ◎確率論, 情報理論, ◎ <u>統計学</u>	下線は2 科目から 1科目選 択必修
	コンピュータ	1以上	1以上	コンピュータ	(情報科学類開設) 論理と形式化, システム制御概論, ◎ <u>数理アルゴリズムとシミュレー ション</u> , 信号処理概論, 情報検索概論, ◎ <u>プログラム言語論</u> , 知識処理概論, 人工知能	下線は2 科目から 1科目選 択必修
合 計 (中学一種, 高校一種)		20	20			

- (注) 1. 教科に関する科目の欄中, 「 」内のものは1科目以上にわたり修得すればよい。  
2. 本学における開設授業科目の欄中, ◎の付してあるものは, 免許取得の際の必修科目を表す。

情報学群 情報科学類

免許 教科	免許法に規定する科目		区 分	本学における開設授業科目 (開設学群・学類)	備 考
	教科に関する科目	最低修得単位数			
		高等学校			
情 報	情報社会及び情報倫理	1以上	情報社会及び情報倫理	(情報学群開設) ◎情報社会と法制度, 知的財産概論 (理工学群開設) 知的財産と技術移転, 科学技術倫理 (工学システム学類開設) 研究・開発原論	
	コンピュータ及び情報処理 (実習を含む。)	1以上	コンピュータ及び情報処理	(情報科学類開設) 電気回路, 論理システム, オートマトンと形式言語, プログラム理論, 計算機アーキテクチャ, VLSI工学, オペレーティングシステムⅠ・Ⅱ, 電子回路	
			コンピュータ及び情報処理 (実習を含む。)	(情報科学類開設) プログラミング入門A・B, ◎データ構造とアルゴリズム, データ構造とアルゴリズム実験, システムプログラミング序論, 論理回路, 論理回路実験, オブジェクト指向プログラミング実習, 論理システム実験, 並列処理アーキテクチャⅠ・Ⅱ, プログラム言語処理, ソフトウェア技法, 計算モデル論	
	情報システム (実習を含む。)	1以上	情報システム	(情報科学類開設) ソフトウェア工学, データベース概論Ⅱ, システム評価技法	
			情報システム (実習を含む。)	(情報科学類開設) ◎情報科学概論Ⅰ, データベース概論Ⅰ, ソフトウェアサイエンス実験A・B, 情報システム実験A・B	
	情報通信ネットワーク (実習を含む。)	1以上	情報通信ネットワーク	(情報科学類開設) 分散システム, 情報セキュリティ	
情報通信ネットワーク (実習を含む。)			(情報科学類開設) ◎ <u>コンピュータネットワーク</u> , ◎ <u>システムプログラム</u>	下線は2科目から1科目選択必修	
マルチメディア表現及び技術 (実習を含む。)	1以上	マルチメディア表現及び技術	(情報科学類開設) 認知科学概論, デジタル信号処理, 自然言語処理, ヒューマンインタフェース, 音声聴覚情報処理, 視覚情報科学, パターン認識		

		マルチメディア表現及び技術 (実習を含む。)	(情報科学類開設) ◎情報科学概論Ⅱ, 画像メディア工学, 知能情報メディア実験A・B	
情報と職業	1以上	情報と職業	(教職科目その他開設) ◎情報と職業 (情報科学類開設) インターンシップⅠ・Ⅱ (工学システム学類開設) 産業技術論Ⅰ・Ⅱ	
合計 (高校一種)	20			

- (注) 1. 教科に関する科目の欄中, ( ) 内のものは必ず修得しなければならない。  
2. 教科に関する科目の欄中, ○○及び○○とあるものは両科目修得しなければならない。  
3. 本学における開設授業科目の欄中, ◎の付してあるものは, 免許取得の際の必修科目を表す。



情報学群 情報メディア創成学類

免許教科	免許法に規定する科目			区 分	本学における開設授業科目 (開設学群・学類)	備 考
	教科に関する科目	最低修得単位数				
		中学校	高等学校			
数    学	代数学	1以上	1以上	代数学	(情報メディア創成学類開設) ◎線形代数Ⅰ・Ⅱ, ◎情報数学Ⅰ・Ⅳ 情報数学Ⅱ	下線は4科目から1科目選択必修
	幾何学	1以上	1以上	幾何学	(情報メディア創成学類開設) ◎CG基礎 インタラクティブCG, 情報数学Ⅲ	
	解析学	1以上	1以上	解析学	(情報メディア創成学類開設) ◎解析Ⅰ・Ⅱ, 信号とシステム	下線は2科目から1科目選択必修
	「確率論, 統計学」	1以上	1以上	「確率論, 統計学」	(情報メディア創成学類開設) ◎確率と統計, ◎統計分析法, 情報理論	下線は2科目から1科目選択必修
	コンピュータ	1以上	1以上	コンピュータ	(情報メディア創成学類開設) ◎プログラミングⅠA, ⅠB, ◎プログラミング実習ⅠA, ⅠB, 情報メディア実験A, B, システム数理Ⅰ, Ⅱ, Ⅲ 知識・自然言語処理, パターン認識, 情報可視化	下線は2科目から1科目選択必修
合 計 (中学一種, 高校一種)		20	20			

(注) 1. 教科に関する科目の欄中, 「 」のものは1科目以上にわたり修得すればよい。

2. 本学における開設授業科目の欄中, ◎の付してあるものは, 免許取得の際の必修科目を表す。

情報学群 情報メディア創成学類

免許 教科	免許法に規定する科目		区 分	本学における開設授業科目 (開設学群・学類)	備 考
	教科に関する科目	最低修得単位数			
		高等学校			
情          報	情報社会及び情報倫理	1以上	情報社会及び情報倫理	(情報学群開設) ◎情報社会と法制度, 知的財産概論 (情報メディア創成学類開設) ◎情報メディア概論	下線は2科目から1科目選択必修
	コンピュータ及び情報処理(実習を含む。)	1以上	コンピュータ及び情報処理	(情報メディア創成学類開設) プログラミングⅡ, コンピュータシステムとOS, プログラム言語論, データ構造とアルゴリズム	
			コンピュータ及び情報処理(実習を含む。)	(情報メディア創成学類開設) ◎プログラミング実習Ⅱ, データ構造とアルゴリズム実習	
	情報システム(実習を含む。)	1以上	情報システム	(情報メディア創成学類開設) コンテンツ流通基盤概論, データベースシステムⅡ	
			情報システム(実習を含む。)	(情報メディア創成学類開設) ◎データ工学概論, データベースシステムⅠ	
	情報通信ネットワーク(実習を含む。)	1以上	情報通信ネットワーク	(情報メディア創成学類開設) ネットワークメディア概論, 通信ネットワーク, 情報通信プラットフォーム論	
			情報通信ネットワーク(実習を含む。)	(情報メディア創成学類開設) ◎Webプログラミング	
	マルチメディア表現及び技術(実習を含む。)	1以上	マルチメディア表現及び技術	(情報メディア創成学類開設) 実世界指向システム, 先端技術とメディア表現, 視覚情報科学, 人間計測の方法	
			マルチメディア表現及び技術(実習を含む。)	(情報メディア創成学類開設) マークアップ言語, 画像・映像情報処理, 音楽・音響情報処理, ◎インタラクションデザイン	
	情報と職業	1以上	情報と職業	(教職科目その他開設) ◎情報と職業	
合 計 (高校一種)	20				

- (注) 1. 教科に関する科目の欄中, ( ) 内のものは必ず含めて修得しなければならない。  
 2. 教科に関する科目の欄中, ○○及び○○とあるものは両科目修得しなければならない。  
 3. 本学における開設授業科目の欄中, ◎の付してあるものは, 免許取得の際の必修科目を表す。

情報学群 知識情報・図書館学類

免許教科	免許法に規定する科目		区 分	本学における開設授業科目 (開設学群・学類)	備 考
	教科に関する科目	最低修得単位数			
		中学校			
社	日本史及び外国史	1以上	日本史及び外国史	(日本語・日本文化学類開設) ◎日本の歴史概論 ◎東洋の歴史と文化 (比較文化学類開設) ◎欧米研究概論 (知識情報・図書館学類開設) 日本図書館学, 中国図書館学, 図書館文化史論	
	地理学(地誌を含む。)	1以上	地理学(地誌を含む。)	(地球学類開設) ◎人文地理学, ◎地誌学 (知識情報・図書館学類開設) 教育文化政策	
	「法律学, 政治学」	1以上	「法律学, 政治学」	(知識情報・図書館学類開設) ◎情報法, 知的財産権論A, 図書館情報法制度論	
会	「社会学, 経済学」	1以上	「社会学, 経済学」	(知識情報・図書館学類開設) ◎メディア社会学, 量的調査法, メディア社会文化論, 質的調査法, 情報行動論, 情報経済論, 経営・組織論	
	「哲学, 倫理学, 宗教学」	1以上	「哲学, 倫理学, 宗教学」	(知識情報・図書館学類開設) ◎哲学, 知識論	
合 計 (中学一種)		20			

(注) 本学における開設授業科目の欄中, ◎の付してあるものは, 免許取得の際の必修科目を表す。

情報学群 知識情報・図書館学類

免許教科	免許法に規定する科目		区 分	本学における開設授業科目 (開設学群・学類)	備 考
	教科に関する科目	最低修得単位数			
		高等学校			
公 民	「法学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」	1 以上	「法学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」	(知識情報・図書館学類開設) ◎情報法, 知的財産権論A, 図書館情報法制度論	
	「社会学, 経済学（国際経済を含む。）」	1 以上	「社会学, 経済学（国際経済を含む。）」	(知識情報・図書館学類開設) ◎メディア社会学, 量的調査法, メディア社会文化論, 質的調査法, 情報行動論, 情報経済論, 経営・組織論	
	「哲学, 倫理学, 宗教学, 心理学」	1 以上	「哲学, 倫理学, 宗教学, 心理学」	(知識情報・図書館学類開設) ◎哲学, 知識論, メディア教育の実践と評価	
合 計 (高校一種)		2 0			

(注) 本学における開設授業科目の欄中, ◎の付してあるものは, 免許取得の際の必修科目を表す。

情報学群 知識情報・図書館学類

免許教科	免許法に規定する科目			区 分	本学における開設授業科目 (開設学群・学類)	備 考
	教科に関する科目	最低修得単位数				
		中学校	高等学校			
数  学	代数学	1 以上	1 以上	代数学	(知識情報・図書館学類開設) ◎基礎数学B, 情報数学	
	幾何学	1 以上	1 以上	幾何学	(情報メディア創成学類開設) ◎CG 基礎, 情報数学Ⅲ, インタラクティブCG	
	解析学	1 以上	1 以上	解析学	(知識情報・図書館学類開設) ◎基礎数学A (情報科学類開設) 数値計算法, 解析学Ⅲ, 複素関数論	
	「確率論, 統計学」	1 以上	1 以上	「確率論, 統計学」	(知識情報・図書館学類開設) ◎統計, 多変量解析, データマイニング	
	コンピュータ	1 以上	1 以上	コンピュータ	(知識情報・図書館学類開設) ◎データ構造とアルゴリズム, 知識情報演習Ⅲ	
合 計 (中学一種, 高校一種)		2 0	2 0			

(注) 本学における開設授業科目の欄中, ◎の付してあるものは, 免許取得の際の必修科目を表す。

情報学群 知識情報・図書館学類

免許教科	免許法に規定する科目		区 分	本学における開設授業科目 (開設学群・学類)	備 考
	教科に関する科目	最低修得単位数			
		高等学校			
情 報	情報社会及び情報倫理	1 以上	情報社会及び情報倫理	(情報学群開設) ◎情報社会と法制度, 知的財産概論	
	コンピュータ及び情報処理 (実習を含む。)	1 以上	コンピュータ及び情報処理 (実習を含む。)	(知識情報・図書館学類開設) ◎プログラミング演習 I, データ表現と処理, コンピュータシステムとネットワーク	
	情報システム (実習を含む。)	1 以上	情報システム (実習を含む。)	(知識情報・図書館学類開設) ◎情報検索システム 情報システム概説, データベース概説, 自然言語解析基礎	
	情報通信ネットワーク (実習を含む。)	1 以上	情報通信ネットワーク (実習を含む。)	(知識情報・図書館学類開設) ◎Web プログラミング, クラウドコンピューティング	
	マルチメディア表現及び技術 (実習を含む。)	1 以上	マルチメディア表現及び技術 (実習を含む。)	(知識情報・図書館学類開設) ◎マルチメディアシステム, ◎プログラミング演習 II, デジタルドキュメント, 情報デザインとインタフェース, マークアップ言語	
情報と職業	1 以上	情報と職業	(教職科目その他開設) ◎情報と職業 (知識情報・図書館学類開設) インターンシップ		
合 計 (高校一種)		20			

(注) 本学における開設授業科目の欄中、◎の付してあるものは、免許取得の際の必修科目を表す。

医学群 看護学類

免許状の種類	免許法に規定する科目		区 分	本学における開設授業科目 (開設学群・学類)	備 考
	養護に関する科目	最低修得単位数			
		養護教諭			
養 護 教 諭	衛生学及び公衆衛生学 (予防医学を含む。)	4以上	衛生学及び公衆衛生学 (予防医学を含む。)	(看護学類開設) 人間環境論 疫学 環境保健学演習 保健統計学	予防医学を含む 〃 予防医学を含む
	学校保健	2以上	学校保健	(看護学類開設) 学校保健 公衆衛生看護学概論	
	養護概説	2以上	養護概説	(看護学類開設) 養護概説 健康教育論	
	健康相談活動の理論及び方法	2以上	健康相談活動の理論及び方法	(看護学類開設) カウンセリング論	
	栄養学(食品学を含む。)	2以上	栄養学(食品学を含む。)	(看護学類開設) 人体の代謝と栄養 食物・栄養学演習	食品学を含む 〃
	解剖学及び生理学	2以上	解剖学及び生理学	(看護学類開設) 人体の構造と機能Ⅰ 人体の構造と機能Ⅱ 人体の構造と機能Ⅲ 機能形態学演習 臨床病態学	
	「微生物学, 免疫学, 薬理概論」	2以上	「微生物学, 免疫学, 薬理概論」	(看護学類開設) 臨床薬理学 感染と免疫	
	精神保健	2以上	精神保健	(看護学類開設) 精神看護学概論 精神保健看護方法論	
看護学(臨床実習及び救急処置を含む。)	10以上	看護学(臨床実習及び救急処置を含む。)	(看護学類開設) 基礎看護学概論 基本看護技術 基本看護技術演習 フィジカルアセスメント 基礎看護学実習Ⅰ(看護過程実習) 基礎看護学実習Ⅱ(基礎看護技術実習) クリティカルケア看護学実習 精神看護学実習 母性看護学実習 小児看護学実習		
合 計	28				

- (注) 1. 養護に関する科目の欄中, ( ) 内のものは必ず含めて修得しなければならない。  
2. 養護に関する科目の欄中, ○○及び○○とあるものは両科目修得しなければならない。

体育専門学群

免許教科	免許法に規定する科目			区 分	本学における開設授業科目 (開設学群・学類)	備 考
	教科に関する科目	最低修得単位数				
		中学校	高等学校			
保 健 体 育	体育実技	1以上	1以上	体育実技	(体育専門学群開設) 体操, 器械運動, 陸上競技, ダンス, 水泳競技, 野外運動, バレーボール, バasketボール, ハンドボール, サッカー, ラグビー, テニス, バドミントン, 卓球, ソフトボール, 柔道, 剣道, 弓道, 臨海実習, 野外運動(雪上)	2科目 以上選 択必修
	「体育原理, 体育心理学, 体育経営管理学, 体育社会学, 体育史」及び運動学(運動方法学を含む。)	1以上	1以上	「体育原理, 体育心理学, 体育経営管理学, 体育社会学, 体育史」	(体育専門学群開設) 体育・スポーツ心理学, 体育・スポーツ経営学, スポーツ社会学 体育・スポーツ史, 武道学Ⅰ, 武道学Ⅱ 体育哲学, スポーツ哲学	
				運動学(運動方法学を含む。)	(体育専門学群開設) ◎運動学Ⅰ, 運動学Ⅱ 一般コーチング学, 一般トレーニング学	
	生理学(運動生理学を含む。)	1以上	1以上	生理学(運動生理学を含む。)	(体育専門学群開設) 生理学, ◎運動生理学, 運動生化学	
	衛生学及び公衆衛生学	1以上	1以上	衛生学及び公衆衛生学	(体育専門学群開設) ◎衛生・公衆衛生学 環境保健学	
	学校保健(小児保健, 精神保健, 学校安全及び救急処置を含む。)	1以上	1以上	学校保健(小児保健, 精神保健, 学校安全及び救急処置を含む。)	(体育専門学群開設) ◎学校保健学Ⅰ(小児保健及び学校安全を含む), 学校保健学Ⅱ ◎健康教育学(精神保健を含む), 精神保健学, 健康社会学 ◎スポーツ医学Ⅰ(救急処置を含む)	
合 計 (中学一種, 高校一種)	20	20				

- (注) 1. 教科に関する科目の欄中, ( ) 内のものは必ず含めて修得しなければならない。  
 2. 教科に関する科目の欄中, ○○及び○○とあるものは両科目修得しなければならない。  
 3. 教科に関する科目の欄中, 「」内のものは1科目以上にわたり修得すればよい。  
 4. 本学における開設授業科目の欄中, ◎の付してあるものは, 免許取得の際の必修科目を表す。  
 5. 入学年度によって、適用となる科目が異なる場合があるため、体育芸術エリア支援室学群教務担当で必ず確認すること。

芸術専門学群

免許教科	免許法に規定する科目		区分	本学における開設授業科目 (開設学群・学類)		備考	
	教科に関する科目	最低修得単位数					
		中学校					高等学校
美	絵画（映像メディア表現を含む。）	1以上	1以上	絵画	(芸術専門学群開設) 芸術（絵画実習A） 日本画実習Ⅱ-A-1～2 芸術（絵画実習B） 日本画実習Ⅱ-B-1～2 素描実習Ⅰ-1～2 日本画実習Ⅱ-C-1～2 素描実習Ⅱ-A-1～2 日本画実習Ⅱ-D-1～2 素描実習Ⅱ-B-1～2 版画実習A-1～2 版画基礎実習1～2 版画実習B-1～2 日本画基礎実習1～2 洋画野外風景実習Ⅰ 油絵基礎実習 洋画野外風景実習Ⅱ 油絵実習Ⅰ-A-1～2 洋画野外風景実習Ⅲ 油絵実習Ⅰ-B-1～2 日本画実習基礎Ⅰ-1～2 油絵実習Ⅰ-C-1～2 日本画実習基礎Ⅱ 油絵実習Ⅰ-D-1～2 野外風景実習Ⅰ 油絵実習Ⅱ-A-1～2 野外風景実習Ⅱ 油絵実習Ⅱ-B-1～2 リトグラフ演習 油絵実習Ⅱ-C-1～2 版画演習A 油絵実習Ⅱ-D-1～2 版画演習B 日本画実習Ⅰ-A-1～2 日本画実習Ⅰ-B-1～2 日本画実習Ⅰ-C-1～2 日本画実習Ⅰ-D-1～2		
				絵画（映像メディア表現を含む。）	◎造形基礎演習A		
術	彫刻	1以上	1以上	彫刻	(芸術専門学群開設) 芸術（塑造実習A） 塑造実習Ⅱ-A-1～2 芸術（塑造実習B） 塑造実習Ⅱ-B-1～2 塑造実習Ⅰ-A-1～2 塑造実習Ⅱ-C-1～2 塑造実習Ⅰ-B-1～2 塑造実習Ⅱ-D-1～2 彫塑論・演習Ⅰ 塑造実習Ⅲ-A 彫塑論・演習Ⅱ 塑造実習Ⅲ-B 彫刻実習Ⅰ-A-1～2 塑造実習Ⅲ-C 彫刻実習Ⅰ-B-1～2 塑造実習Ⅲ-D 鋳造実習Ⅰ 彫刻基礎実習 鋳造実習Ⅱ 彫刻実習Ⅱ-A 総合造形基礎実習Ⅰ 彫刻実習Ⅱ-B 総合造形基礎実習Ⅱ 彫塑特別実習Ⅰ ◎造形基礎演習B 彫塑特別実習Ⅱ 造形技法実習C彫塑-1 造形技法実習C彫塑-2		
				デザイン（映像メディア表現を含む。）	1以上	1以上	デザイン



				ビジュアルデザイン演習A ビジュアルデザイン演習B 印刷デザイン演習 生産材料・技術論 造形論A 造形論B 造形原論 造形発想論	総合造形創作演習B ランドスケープデザイン論 都市デザイン論 住宅地計画論 デザイン史概説A デザイン史概説B		
			デザイン (映像メディア表現を含む。)	◎造形基礎演習C			
美	工芸	1以上	—	工芸	(芸術専門学群開設) 芸術(工芸工作実習A陶磁) 芸術(工芸工作実習Bガラス) テラコッタ実習 クラフト基礎実習(陶磁)I クラフト基礎実習(陶磁)II クラフト基礎実習(木工)I クラフト基礎実習(木工)II クラフト基礎実習(ガラス)I クラフト基礎実習(ガラス)II 陶磁実習A-1~2 ガラス実習I~II 木工実習I 木工実習II 油絵基礎技法演習 日本画技法演習 ◎クラフト概論 デザイン基礎演習1 デザイン基礎演習2	造形技法実習A 油性素材実験-1 造形技法実習A 油性素材実験-2 造形技法実習B 水性素材実験-1 造形技法実習B 水性素材実験-2 造形技法実習F 立体加工-1 造形技法実習F 立体加工-2 洋画技法演習 ◎建築デザイン概論 ◎環境デザイン概論 漆芸技法演習 ロクロ技法演習	中学のみ 下線は1 科目選択 必修
	美術理論 及び美術史 (鑑賞並びに日本の伝統美術及びアジアの美術を含む。)	1以上	1以上	美術理論	(芸術専門学群開設) 美術論A-1~2 美術論B-1~2 芸術解剖学I 芸術解剖学II 洋画概論 洋画技法論 洋画構想論 彫塑概論 日本画概論 日本画技法論 版画概論 総合造形概論 芸術学概論-1 芸術学概論-2 芸術支援学概論	美術史学方法論-1 美術史学方法論-2 芸術学特講I-1~2 芸術学特講II-1~2 芸術学演習A-I~II 日本画鑑賞研究 美術史研究 芸術支援学IA-1~2 芸術支援学IB-1~2 芸術支援学IC-1~2 芸術支援学IIA-1~2 芸術支援学IIB-1~2 芸術支援学IIC-1~2	
美術史				(芸術専門学群開設) 絵画史B-I~II 彫刻史A-I~II	美術史特講A-1~2 美術史特講1~2 美術史特講C-1~2 美術史特講D-1~2 美術史演習A-1~2 美術史演習C-1~2		

			美術史 (鑑賞並びに日本の伝統美術及びアジアの美術を含む。)	◎ <u>美術史概説A-1~2</u> ◎ <u>美術史概説B-1~2</u>	下線は 1科目選 択必修
合計 (中学一種, 高校一種)	20	20			

- (注) 1. 教科に関する科目の欄中, ( ) 内のものは必ず含めて修得しなければならない。  
2. 教科に関する科目の欄中, ○○及び○○とあるものは両科目修得しなければならない。  
3. 本学における開設授業科目の欄中, ◎の付してあるものは, 免許取得の際の必修科目を表す。

芸術専門学群

免許教科	免許法に規定する科目		区分	本学における開設授業科目 (開設学群・学類)		備考	
	教科に関する科目	最低修得単位数					
		高等学校					
工	図法及び製図	1以上	図法及び製図	(芸術専門学群開設) デザイン基礎演習1 デザイン基礎演習2 デザイン技法演習1～2 デザイン演習1～6		◎造形技法実習Dグラフィックプレゼンテーション	
	デザイン	1以上	デザイン	(芸術専門学群開設) 造形心理学 色彩構成演習I 色彩構成演習II 建築史 ビジュアルデザイン概論 ビジュアルデザイン演習A ビジュアルデザイン演習B 印刷デザイン演習 ◎造形論A ◎造形基礎演習C		造形発想論 総合造形創作演習B 総合造形表現演習I 総合造形表現演習II 総合造形創作演習A-I～II 展示造形・パフォーマンスI 展示造形・パフォーマンスII 画像論 デザイン史概説A デザイン史概説B デザインイノベーション論	下線は1科目選択必修
	工芸制作 (プロダクト制作を含む。)	1以上	工芸制作	(芸術専門学群開設) 芸術(工芸工作実習A陶磁) 芸術(工芸工作実習Bガラス) テラコッタ実習 クラフト基礎実習(陶磁)I クラフト基礎実習(陶磁)II クラフト基礎実習(木工)I クラフト基礎実習(木工)II クラフト基礎実習(ガラス)I クラフト基礎実習(ガラス)II 陶磁実習A-1～2 ガラス実習I～II 木工実習I 木工実習II 油絵基礎技法演習 洋画技法演習 日本画技法演習		総合造形基礎実習I 総合造形基礎実習II 造形技法実習A 油性素材実験-1 造形技法実習A 油性素材実験-2 造形技法実習B 水性素材実験-1 造形技法実習B 水性素材実験-2 造形技法実習C彫塑-1 造形技法実習C彫塑-2 造形技法実習F 立体加工-1 造形技法実習F 立体加工-2 漆芸技法演習 ロクロ技法演習	
芸			工芸制作 (プロダクト制作を含む。)	◎造形基礎演習B			



芸術専門学群

免許教科	免許法に規定する科目		区 分	本学における開設授業科目 (開設学群・学類)	備 考
	教科に関する科目	最低修得単位数			
		高等学校			
書    道	書道（書写を含む。）	1 以上	書道（書写を含む。）	（芸術専門学群開設） ◎書実習基礎Ⅰ－1～2 ◎書実習基礎Ⅱ－1～2 書実習漢字制作A－1～2 書実習漢字制作B－1～2 書実習漢字制作C－1～2 書実習仮名制作A－1～2 書実習仮名制作B－1～2 書実習仮名制作C－1～2	
	書道史	1 以上	書道史	（芸術専門学群開設） ◎中国書法史Ⅰ ◎中国書法史Ⅱ ◎日本書道史Ⅰ ◎日本書道史Ⅱ	
	「書論，鑑賞」	1 以上	「書論，鑑賞」	（芸術専門学群開設） ◎書概論 ◎書鑑賞論Ⅰ ◎書鑑賞論Ⅱ 書学方法論Ⅰ 書学方法論Ⅱ	
	「国文学，漢文学」	1 以上	「国文学，漢文学」	（比較文化学類開設） ※日本文学概論 ※日本文学講読1～10 日本文学史1～4 ※中国文学概論 中国文学講読Ⅰ～Ⅳ （日本語・日本文化学類開設） ※日本の文学概論 ※日本文学の歴史 ※中国文学と日本文学 ※中国文学と日本文学演習	
	合 計 (高校一種)	20			

- (注) 1. 教科に関する科目の欄中，( ) 内のものは必ず含めて修得しなければならない。  
 2. 教科に関する科目の欄中，「 」内のものは1科目以上にわたり修得すればよい。  
 3. 本学における開設授業科目の欄中，◎の付してあるものは，免許取得の際の必修科目を表す。  
 4. 本学における開設授業科目の欄中，※から1科目以上選択すること。

芸術専門学群（平成25年度以前入学者対象）

免許教科	免許法に規定する科目		区 分	本学における開設授業科目 (開設学群・学類)	備 考
	教科に関する科目	最低修得単位数			
		高等学校			
情     報	情報社会及び情報倫理	1 以上	情報社会及び情報倫理	(芸術専門学群開設) ◎社会情報論 情報デザイン発達史 学外演習(情報・プロダクトデザイン)	
	コンピュータ及び情報処理(実習を含む。)	1 以上	コンピュータ及び情報処理(実習を含む。)	(芸術専門学群開設) ◎コンピュータ・アート I ◎コンピュータ・アート II ◎情報システムデザイン学 人間工学 感性デザイン学 製品デザイン解析論	(実習を含む) (実習)
	情報システム(実習を含む。)	1 以上	情報システム(実習を含む。)	(芸術専門学群開設) ◎情報デザイン設計論 ◎インフォメーション・グラフィックス演習  生産デザイン論 1 生産デザイン論 2 情報・プロダクトデザイン演習 1 造形技法実習 E 情報- 2	(実習を含む) (実習を含む)  (実習を含む) (実習)
	情報通信ネットワーク(実習を含む。)	1 以上	情報通信ネットワーク(実習を含む。)	(芸術専門学群開設) ◎ダイナミックインタラクションデザイン演習 情報・プロダクトデザイン演習 2 情報・プロダクトデザイン演習 3 ◎プログラミング演習 (社会工学類開設) 情報ネットワーク	(実習を含む) (実習を含む) (実習を含む) (実習) (実習を含む)
	マルチメディア表現及び技術(実習を含む。)	1 以上	マルチメディア表現及び技術(実習を含む。)	(芸術専門学群開設) ◎CAD演習 写真演習 造形技法実習 E 情報- 1 情報メディア論	(実習を含む) (実習を含む) (実習)
	情報と職業	1 以上	情報と職業	(教職科目その他開設) ◎情報と職業 (芸術専門学群開設) 情報・プロダクトデザイン概論 メディア・アート論 デザイン・イノベーション論	
合計 (高校一種)		20			

- (注) 1. 教科に関する科目の欄中, ( ) 内のは必ず含めて修得しなければならない。  
 2. 教科に関する科目の欄中, ○○及び○○とあるものは両科目修得しなければならない。  
 3. 本学における開設授業科目の欄中, ◎の付してあるものは, 免許取得の際の必修科目を表す。

## 特別支援教育に関する科目に対応する開設授業科目一覧

免許状の種類	免許法に規定する科目				本学における開設授業科目 (開設学群・学類)	備考	
	特別支援教育に関する科目	左の科目に含めるべき科目	担任可能領域	最低修得単位数			
特別支援学校教諭	(第1欄) 特別支援教育の基礎理論に関する科目		全領域	2以上		(障害科学類開設) ○障害者教育基礎理論 障害原理論Ⅱ 障害児教育方法学 自立活動論	
	(第2欄) 特別支援教育領域に関する科目	心身に障害のある幼児、児童又は生徒の心理、生理及び病理に関する科目	視覚障害者	1以上	8以上	16以上	(障害科学類開設) ○視覚障害生理病理特講 ○視覚障害と心理
		心身に障害のある幼児、児童又は生徒の教育課程及び指導法に関する科目		2以上			(障害科学類開設) ○視覚障害教育概論 視覚障害自立活動 視覚障害指導法
		心身に障害のある幼児、児童又は生徒の心理、生理及び病理に関する科目・教育課程及び指導法に関する科目					(障害科学類開設) 視覚障害アセスメント 視覚障害の理解と支援 点字の実際
		心身に障害のある幼児、児童又は生徒の心理、生理及び病理に関する科目	聴覚障害者	1以上			(障害科学類開設) ○聴覚障害生理病理特講 ○聴覚障害と心理
		心身に障害のある幼児、児童又は生徒の教育課程及び指導法に関する科目		2以上	(障害科学類開設) ○聴覚障害児の教育と指導法 聴覚障害児の言語指導 聴覚障害自立活動特講		
		心身に障害のある幼児、児童又は生徒の心理、生理及び病理に関する科目・教育課程及び指導法に関する科目			聴覚障害とリテラシー 聴覚障害とコミュニケーション 聴覚補償論 手話と聴覚障害者		
		心身に障害のある幼児、児童又は生徒の心理、生理及び病理に関する科目	知的障害者	1以上	4以上	(障害科学類開設) ○知的・発達障害生理病理特講 ○知的・発達障害と心理 知的障害児・者の心理臨床	
		心身に障害のある幼児、児童又は生徒の教育課程及び指導法に関する科目		2以上		(障害科学類開設) ○知的障害学校教育論(指導法) 知的障害自立活動指導論 知的障害者の生活と教育・福祉	
		心身に障害のある幼児、児童又は生徒の心理、生理及び病理に関する科目	肢体不自由者	1以上	4以上	(障害科学類開設) ○肢体不自由者の生理病理 ○運動障害と心理	
		心身に障害のある幼児、児童又は生徒の教育課程及び指導法に関する科目		2以上		(障害科学類開設) ○運動障害の指導法 運動障害教育の自立活動指導法 運動障害教育学	

	心身に障害のある 幼児，児童又は生徒 の心理，生理及び病 理に関する科目	病弱者	1 以上	4 以上	(障害科学類開設) 病弱者の生理病理 健康障害と心理	
	心身に障害のある 幼児，児童又は生徒 の教育課程及び指 導法に関する科目		2 以上		(障害科学類開設) 健康障害の指導法 健康障害教育の自立活動指導法	
(第3欄) 免許状に定められ ることになる特別 支援教育領域以外 の領域に関する科 目	心身に障害のある 幼児，児童又は生徒 の心理，生理及び病 理に関する科目	全領域	5以上		(障害科学類開設) 言語障害生理病理特講 言語障害と心理	
	心身に障害のある 幼児，児童又は生徒 の教育課程及び指 導法に関する科目				(障害科学類開設) 言語障害児の指導法 発達障害学校教育論（指導法） 行動・情緒障害の指導法	
	心身に障害のある 幼児，児童又は生徒 の心理，生理及び病 理・教育課程及び指 導法に関する科目				(障害科学類開設) ※障害児教育総論 ○発達障害の理解と支援 ○重複障害の理解と支援 小児の言語障害 応用行動分析学の基礎 応用行動分析学の展開 自閉症スペクトラム障害臨床実習	
(第4欄) 心身に障害のある 幼児，児童又は生 徒についての教育 実習		全領域	3以上		(障害科学類開設) 特別支援教育実習	
合 計 (特別支援学校1種 2領域以上(全領域))			26以上 (38以上)			

#### 履修上の注意

1. 本学における開設授業科目の○の付してあるものは，特別支援学校免許取得の際の，それぞれの欄（第2欄にあつてはそれぞれの教育領域）の本学必修科目を表す。

2. (第2欄) 特別支援教育領域に関する科目の履修方法

第2欄は，最低16単位以上の修得が必要であり，最低修得単位数以上を修得した教育領域（2教育領域以上）が取得できる免許状の領域となる。

履修例：「視覚障害者（8単位以上）」「聴覚障害者（8単位以上）」の2教育領域で16単位以上を修得する方法，「視覚障害者（8単位以上）」「知的障害者（4単位以上）」「肢体不自由者（4単位以上）」の3教育領域で16単位以上を修得する方法，「視覚障害者（8単位以上）」「聴覚障害者（8単位以上）」「病弱者（4単位以上）」の3教育領域で20単位以上を修得する方法などがある。（教育領域の組み合わせは自由）

なお，2教育領域以上について当該教育領域の最低修得単位数を修得し，第2欄全体で16単位以上を修得した場合においても，最低修得単位数以上を修得した教育領域が取得できる免許状の領域となる。

履修例：「聴覚障害者（4単位）」「知的障害者（4単位）」「肢体不自由者（4単位）」「病弱者（4単位）」で16単位を



修得した場合、取得できる免許状の領域は「知的障害者」、「肢体不自由者」、「病弱者」の3領域。

3. (第3欄) 免許状に定められることになる特別支援教育領域以外の領域に関する科目の履修方法

5教育領域のすべてを取得せず、2～4教育領域の免許取得とする場合は、「※障害児教育総論」の単位を修得すること。

5教育領域のすべてを取得する場合は※印の科目は必要5単位の単位数には含めることができない。

4. (第4欄) 特別支援教育実習は、下記に示す最低要件を満たしたうえで履修するものとする。

①「特別支援教育の基礎理論に関する科目」2単位を修得済み（履修申請時は実習開始までに修得見込でも可）であること。

②特別支援教育の教育領域のうち、視覚障害、聴覚障害、肢体不自由、知的障害の4領域のうち、少なくとも、いずれか1つの領域について、「生理・心理に関する科目」2単位、ならびに「教育課程・指導法に関する科目」2単位を修得済み（履修申請時は実習開始までに修得見込でも可）であること。なお、「心理、生理及び病理・教育課程及び指導法に関する科目」は、これら2単位には含めない。

③前項②で修得済みの教育領域の教育を主とする特別支援学校で教育実習を実施すること。